



建学の精神 「不言実行、あてになる人間」



創立者 三浦幸平のことば より

私は、実行力のある人間をつくりたいと思い、「不言 実行、あてになる人間」を建学の精神としました。

「不言実行」といっても、ものを言わないということ ではありません。口だけで何も実行しないことがいけ ないということです。

思うことを行為にあらわすことによってはじめて人間の価値が生まれる、ということです。人のためになり、社会から信頼される「あてになる人間」を育てたい、と願っています。





学校法人中部大学 理事長·総長 飯吉 厚夫

学校法人中部大学は、2018年(平成30年)12月8日に学園創立80 周年を迎えました。

創立者三浦幸平先生が名古屋市鶴舞の地に開校した「名古屋第一工学校」が設置認可された1938年(昭和13年)12月8日が学園の始まりです。以来、太平洋戦争による学園の全施設の焼失など、数々の苦難を乗り越え、現在は中部大学、中部大学第一高等学校、中部大学春日丘高等学校、中部大学春日丘中学校の4校に、14,000人を超える学生・生徒が集う総合学園へと成長してまいりました。

80年の歴史を刻んできた折々において、多くの関係者の皆様方のご協力、ご尽力とご支援をいただきました。心から感謝し厚く御礼申し上げます。

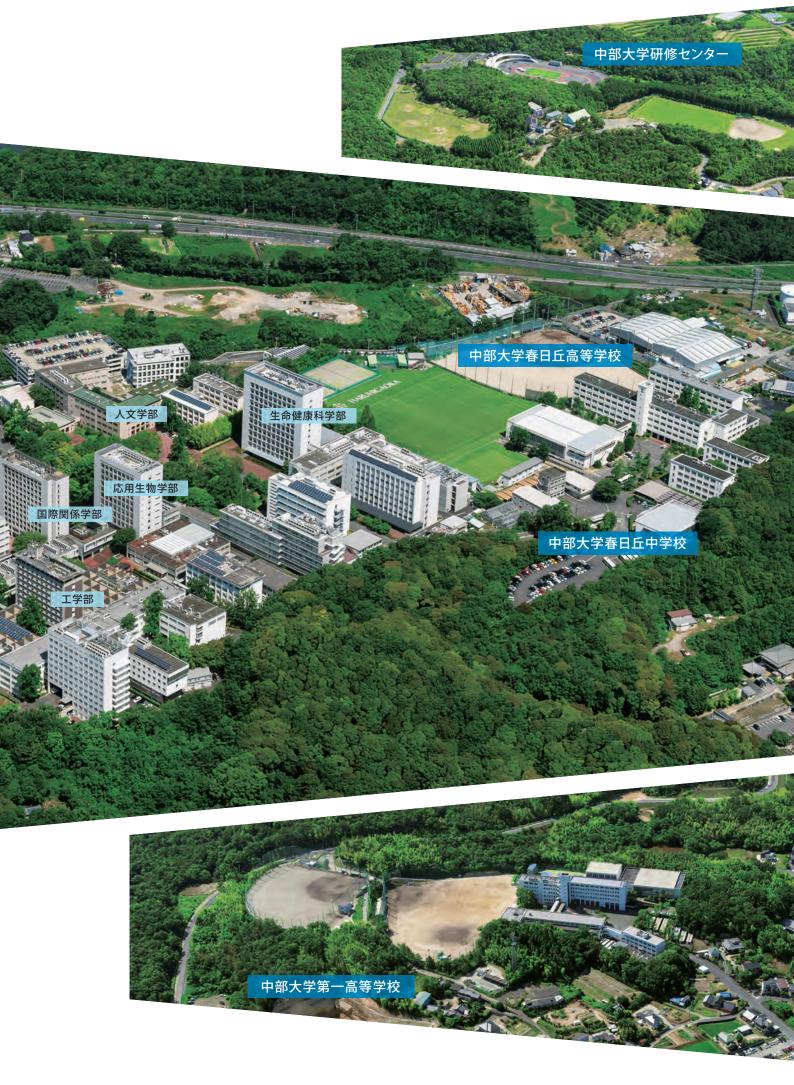
学園創立80周年を記念した写真集「学校法人中部大学80年のあゆみ」は、80年の歴史の概要と学園が設置する各校の現在の諸活動を写真で綴ったものです。皆さまと共に学園が歩んできた歴史を振り返り、90周年、100周年に向けて更なる発展のために思いを新たにする一端となることを期待いたします。



CONTENTS

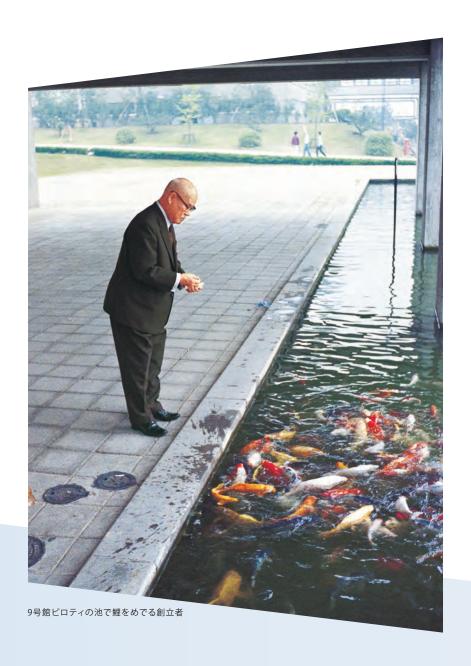
創立者 三浦幸平		6
1938年~1944年	技術教育への夢	8
1945年~1950年	戦禍からの再建	10
1951年~1961年	三浦学園の出発	12
1962年~1968年	大学開学の実現	14
1969年~1974年	大学のさらなる進化	16
1975年~1983年	受け継がれる創立者の遺志	18
1984年~1988年	総合大学の誕生	22
1989年~1993年	学園の拡充	24
1994年~2002年	次代への対応	26
2003年~2009年	新たな教育への挑戦	28
2010年~2019年	持続可能な未来のために	30
中部大学		34
中部大学第一高等学校		66
中部大学春日丘高等	ş学校 ······	72
中部大学春日丘中学校		78
学校法人中部大学	歷代理事長、学園長、総長、学長、校長	82
2019年度 学生•生	徒数、教職員数	83
学校法人中部大学 学生・生徒数の推移		84
学校法人中部大学!	敷地・建物面積の推移	86
学校注 山部大学8	80年のあゆみ	88







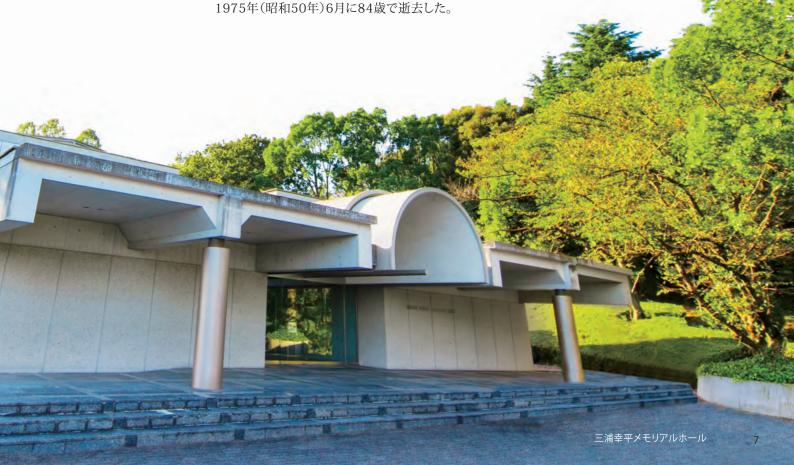
創立者三浦幸平



創立者三浦幸平は1890年(明治23年)8月に愛知県半田市で生まれ、尋常高等小学校を卒業後、銀行に就職しすぐ結核で3年間療養し、その後、独学で小学校訓導となったが向学心やみがたく、6年後に上京し東京物理学校に進学した。昼間は東京帝国大学の眞嶋正市先生の研究所で助手補佐の仕事をし、夜間に勉強、卒業できるのは10人に1人というきびしい勉学の中で首席で卒業し、27歳で愛知県立第一中学の教員になった。

3年後には、国立名古屋高等工業学校(現名古屋工業大学)の助教授に抜擢され、その後研究を重ねて、教授に昇進した。しかし、これからの日本は中堅技術者の養成が必要であると痛感し、1938年(昭和13年)に48歳で名古屋第一工学校を創立した。これが本学園の始まりである。しかし6年後、戦災で校舎は全焼し、十数年間の苦難を乗り越えて1957年(昭和32年)、高等学校を復興した。

さらに創立者は、70歳になって工業大学の設立を目指し春日井市のこの高台を校地と定め、1962年(昭和37年)に中部工業短期大学を、2年後の1964年(昭和39年)に中部工業大学を設立した。創立者は工業大学設立に際し、アメリカ・マサチューセッツ工科大学を手本とし、将来計画として人文系、社会系の学部、大学院、研究所も含めて構想し、その基盤となる工学の大学院博士課程を82歳で開設、2年後の





技術教育への夢

1938(昭13)12 名古屋第一工学校設立認可

創立者 三浦幸平

1939(昭14)4 「名古屋市中区千早町5丁目18番地」に名古屋第一工学校

(電気工学科、機械工学科、応用化学科)を開校、初代校長に

真嶋正市就任

1941(昭16)4 「名古屋市中区老松町」に分教場を設置

1944(昭19)7 名古屋第一工学校第2代校長に三浦幸平就任



第1回入試合格者発表で賑わう名古屋第一工学校(右)前の風景



入学試験の面接

名古屋第一工学校設立

名古屋第一工学校は、1939年(昭和14年)4月、名古屋市中区千早町で産声をあげた。

初代校長には、眞嶋正市東京帝国大学教授が就任した。眞嶋校長は、 創立者三浦幸平が学んだ東京物理学校の恩師で、工学博士、のちに 国の文化功労者となる。

一部(昼間)、二部(夜間)の二部制で、修業年限は3年、電気工学、機械工学、応用化学の3学科を設置し、昼間部は、電気工学3、機械工学5、応用化学1学級の堂々たる編成であった。

校舎は若草色塗りの木造瓦葺き2階建て2棟、生徒たちの制服・制帽はともにカーキ色、帽子は二条の白線入りであった。

経営は順調で、たちまち教室や実習場が不足し、1941年(昭和16年) には本校から歩いて5分の距離にある老松町に分教場を設置した。



創立に尽くした人々 (前列左より) 市野徳太郎、東野十次郎、北澤忠男、中野學 (後列左より) 江口奢、三浦幸平、榊秀信、山口清次(円内は加藤次郎)



創立者 三浦幸平



初代校長 眞嶋正市



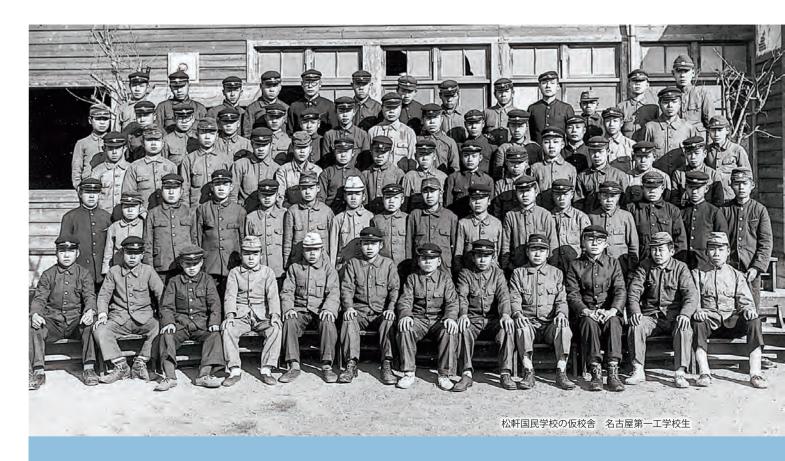
老松分教場での謝恩会



老松分教場での教練の査閲



エルモ社での実習風景



戦禍からの再建

1945(昭20)3

1947(昭22)4

1948(昭23)3

1949(昭24)3

1950(昭25)3

常磐高等学校(普通科)を開校、校長に三浦幸平就任

(1957.12 廃止)

設置認可

修業年限を3年から1年に短縮

名古屋工業中学校を常磐中学校に名称変更(1965.3 廃止) 5 財団法人愛知常磐女子商業学校の理事長に三浦幸平就任

空襲により名古屋第一工学校の本校、分教場ともに焼失 千種区の松軒国民学校の校舎を借用して、授業を継続

名古屋工業中学校、第1回の卒業生を送り出し、以後休校 名古屋第一工学校の学則を変更し、機械工学科、電気工学 科、応用化学科の名称を機械科、電気科、工業化学科に変更、

名古屋第一工学校、最後の卒業生を送り出し、以後休校

財団法人愛知常磐女子商業学校を合併、常磐高等学校

名古屋工業中学校開校、校長に三浦幸平就任

財団法人愛知常磐女子商業学校を財団法人常磐学園に名称 変更(理事長三浦幸平)

(この年鶴舞校地の焼跡に移築の木造校舎建つ)



松軒国民学校仮校舎時代の職員

戦火によりすべて焼失 名古屋工業中学校開校

1945年(昭和20年)3月19日、名古屋第一工学校に とって運命の日を迎えた。名古屋大空襲である。

警戒警報発令が19日午前1時45分、空襲警報発令が2時ちょうど、解除が4時54分。悪夢としか言いようのない2時間54分だった。名古屋第一工学校と分教場(実習工場、寄宿寮等)は全て炎の中に崩れ落ちた。

1945年(昭和20年)8月15日、戦争は終わった。

戦後の学制改革により、これまでの中学校は単独、あるいは合併によって新制高等学校へ変身していった。 名古屋第一工学校も高等学校へ変わるべく努力をしてみたが、各種学校であったため、そのままでは新制高等学校への昇格は許されなかった。 そこで、名古屋第一工学校はそのままにして、別の新制度による名古屋工業中学校を設置して、名古屋第一工学校からの編入生を受け入れたが、校舎がなく、新たな入学志願者も皆無で、1948年(昭和23年)、82人の卒業生を送り出した後は有名無実の状態が続いた。

一方、名古屋第一工学校は愛知女子商業学校(名古屋市西区菊元町)の教室を借りて、残った生徒の授業を細々と続けたが、1949年(昭和24年)3月、30人の卒業生を送り出した後は応募者も無く、自然に休校状態となった。

丸1年間、生徒がいない、一番苦しい時期であった。

名古屋第一工業高等学校の前身、常磐高等学校開校

1950年(昭和25年)のはじめ、学校再建のチャンスがおとずれた。知人から、名古屋第一工学校と同じように「戦災で校舎を全焼し、無一物となった財団法人愛知常磐女子商業学校が、経営者に再建の意思が無く、法人を譲渡したがっている」という話が持ち込まれたのだ。

すでにある財団法人を受け継いで、新制高等学校を 設立するのであれば、校舎、設備が多少基準に合わなく とも"再建途中"ということで認可が受けやすい。さっそく 譲り受け、「1年以内に鶴舞校地に校舎を建てること」と いう条件はついたが、1950年(昭和25年)3月14日、 設置認可となった。

とりあえず、西区の愛知女子商業学校の好意で校舎の一部を借り受け、1950年(昭和25年)4月1日、常磐高等学校は開校した。

1951年(昭和26年)1月には、移築した2階建て木造校舎が完成し、仮校舎を引き払って、やっと鶴舞の地に落ち着いた。

戦災で全焼して以来6年ぶりのことであった。



愛知女子商業学校における常磐高等学校の運動会



常磐高等学校の戦後初めての新築木造校舎



三浦学園の出発

1951(昭26)3 私立学校法に基づき、財団法人常磐学園を学校法人三浦学園に組織変更、理事長に三浦幸平就任

4 鶴舞幼稚園開園、園長に三浦幸平就任

1952(昭27)4 常磐高等学校に商業科(1957.3 廃止)、専攻科(1962.9 廃止)

を設置

1955 (昭30) 9 常磐高等学校に電気通信科を設置 (1961.3 廃止)

中部高等電波学校を桜花学園から移管

1957 (昭32) 3 中部高等電波学校最後の卒業式、以後休校 (1961.10 廃止)

4 常磐高等学校に機械科を設置

12 常磐高等学校を名古屋第一工業高等学校に名称変更 (校長三浦幸平)

1958(昭33)2 鶴舞校均

鶴舞校地に学園初の鉄筋校舎(4階建)完成

1959(昭34)4 名古屋第一工業高等学校に電子工学科を設置

(1968.4 電子科に名称変更)

鶴舞校地に全国的にも珍しい鉄筋6階建校舎完成

1960(昭35)4 名古屋第一工業高等学校に自動車科を設置

1961(昭36)4 名古屋第一工業高等学校に電気科を設置



常磐高等学校第1回卒業記念(1952年3月)



鶴舞校地に初めて建った名古屋第一工業高等学校の 鉄筋4階建校舎

常磐学園から三浦学園へ 常磐高等学校から名古屋第一工業高等学校へ

1951年(昭和26年)は、学園にとって新たな出発の年であった。

財団法人常磐学園は私立学校法に基づき、学校法人三浦学園に組織変更することになり、1951年(昭和26年)3月8日付けで認可された。また4月には鶴舞幼稚園が開園した。

三浦学園は常磐高等学校と休眠中の常磐中学校、名古屋第一工 学校、そして鶴舞幼稚園を持つ学校法人になった。

常磐高等学校は普通科のみであったが、その後、電気通信科、機械科などを設置し、ようやく教育環境が整ってきたので、1957年(昭和32年)12月8日の19周年記念日を期して、常磐高等学校を名古屋第一工業高等学校と名称変更した。

1958年(昭和33年)2月には念願の鉄筋コンクリート4階建て校舎、1959年(昭和34年)4月には鉄筋コンクリート6階建て校舎が完成し、戦火で校舎を焼失して以来13年目の快挙であった。この年の4月8日、新装の校舎6階の講堂で行われた入学式で、三浦幸平校長は「日本一小さな高校が、日本一高い校舎を持った」と胸を張った。



鶴舞幼稚園の端午の節句のお遊戯会



名古屋第一工業高等学校での自動車整備実習



名古屋第一工業高等学校生徒によるウラン鉱の実地調査 (1959年岐阜県吉城郡)



名古屋第一工業高等学校での弱電実習



全館完成し面目を一新した名古屋第一工業高等学校の校舎



大学開学の実現

1962(昭37)1 中部工業短期大学設置認可

名古屋第一工業高等学校春日井分校設置認可

4 「春日井市松本町1200番地」に中部工業短期大学(機械科、電気 科)を開学、初代学長に三浦幸平就任

1963 (昭38) 3 鶴舞幼稚園、最後の卒園式、以後休園 (1965.3廃止)

4 名古屋第一工業高等学校春日井分校(機械科、電気科)を開校 中部工業短期大学に建設科を設置

1964(昭39)1 中部工業大学設置認可

常磐中学校、最後の卒業式、以後休校(1965.3廃止)

4 春日井キャンパスに中部工業大学(機械工学科、電気工学科、土木 工学科、建築学科)を開学、初代学長に三浦幸平就任

名古屋第一工業高等学校第3代校長に入部彌一就任、同校春日井 分校に普通科を設置

1965 (昭40) 1 中部工業大学附属高等学校設置認可

1965 (昭40) 4 中部工業大学附属高等学校 (普通科、機械科、電気科) を開校、初代校長に三浦幸平就任

1966(昭41)3 中部工業短期大学を廃止

4 中部工業大学に生産機械工学科、電子工学科、工業化学科、工業 物理学科を設置

11 中部工業大学開学式を11月19日に挙行、この日を開学記念日とする 1967(昭42)3 名古屋第一工業高等学校春日井分校最後の卒業式、同校春日井 分校を廃止

9 恵那市武並に校地40万㎡を取得

1967(昭43)9 岐阜県新穂高に1万3千㎡の校地と温泉井を取得



地鎮祭で鍬入れする創立者 三浦幸平(1961年)



工事中の2号館(1961年)



中部工業短期大学開学式であいさつする学長

中部工業短期大学開学から中部工業大学へそして、中部工業大学附属高等学校開校

戦災による校舎焼失、戦後の混乱、物資の不足、 学制改革…。あらゆる苦難を乗り越えて、名古屋第一 工業高等学校を復活させた創立者三浦幸平の行動力 は計り知れないものがあった。

社会は、1960年代から所得倍増の掛け声とともに、 高度経済成長の階段をかけ登っていた。産業界の目覚 ましい躍進によって、工業技術者の需要が高まる一方、 高校進学・大学進学希望者も多くなってきた。

ようやく学校経営も軌道に乗り、いよいよ工科系の 大学設立という夢の実現に向かって進むこととなった。

中部工業短期大学設立の計画は、春日井市松本町 の丘陵地に広大な土地を取得してその実現に向けて 出発し、1962年(昭和37年)1月20日付けで設置認可 を得た。

1962年(昭和37年)4月、中部工業短期大学は機械 科と電気科の2学科で産声をあげた。

4年制の工科系大学の創設は、短期大学設立以前からの予定路線であり、着々と準備が進められ、1964年(昭和39年)4月には待望の中部工業大学(現中部大学)が機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科の4学科でスタートし、初代学長には三浦幸平が就任した。

1965年(昭和40年)4月には、大学キャンパス内に 中部工業大学附属高等学校(現中部大学春日丘高等 学校)も開校し、三浦学園は、まさに躍進の時代の幕開 けを迎えた。



9号館が東へ延び、ピロティと池ができた(1967年)



中部工業短期大学第1回入学式



名古屋第一工業高等学校春日井分校校舎(1963年)



中部工業大学附属高等学校の工作機械実習



中部工業大学附属高等学校、新校舎をバックに下校(1966年)

1969

昭和44年~49年



大学のさらなる進化

1969(昭44)6

中部工業大学附属高等学校第2代校長に黒柳誠太郎就任

9 中部工業大学の体育館・講堂が開館

11 三浦学園創立30周年記念式典・祝賀会、『三浦学園の三十年』刊行

1970(昭45)9 新穂高山荘完成

1971(昭46)4 中部工業大学に大学院工学研究科を開設、機械工学専攻修士課程、電気工学専攻修士課程を設置

名古屋第一工業高等学校第4代校長に水野隆夫就任

7 新穂高ロッジ完成

1973 (昭48) 3 名古屋第一工業高等学校の定時制課程を廃止

中部工業大学大学院工学研究科に機械工学専攻博士課程、電気 工学専攻博士課程を設置ならびに、建築学専攻修士課程、工業化学 専攻修士課程を設置

中部工業大学、アメリカのオハイオ大学(州立)と姉妹校提携

11 恵那校地に総合グラウンド完成

1974(昭49)4 中部工業大学大学院工学研究科に土木工学専攻修士課程を設置 ち 名古屋第一工業高等学校第5代校長に山田貞彦就任

学園創立30周年記念式典 大学と2つの高等学校の校旗が並ぶ(1969年11月19日)



ノーベル賞の湯川秀樹博士(右)が講演のため来学 (1970年11月2日)



中部工業大学電子計算機センター

学園創立30周年 大学院工学研究科設置と博士課程増設

創立30周年記念事業(図書館、体育館建設など)の 完成を待って、1969年(昭和44年)11月19日(大学の 開学記念日)に、学園創立30周年記念式典が挙行さ れた。

創立者三浦幸平は、創立以来30年間の学園の苦難を乗り越えた飛躍的な発展と学園内外の方々の協力に対して感謝を述べ、さらに遠大な将来計画に言及した。その将来計画には、夢であり願望でもあった大学院の設置があった。

大学院の第一歩は、1971年(昭和46年)4月、大学院 工学研究科機械工学専攻、電気工学専攻の修士課程 の設置であった。次いで、1973年(昭和48年)4月には 機械工学専攻と電気工学専攻の博士課程を設置する とともに、建築学専攻と工業化学専攻の修士課程を設置した。さらに1974年(昭和49年)4月には土木工学専攻の修士課程を設置した。

一方、学園は、将来の規模拡大を考えて、第三の 校地を求めることになり、国鉄(現JR)中央線武並駅 (岐阜県恵那市)の南の丘陵地を取得した。ここには、 まず総合グラウンドを建設し、次に研修センター棟の 建設にとりかかった。また北アルプスの中央、穂高連峰 の飛騨側で、目の前に槍ヶ岳、穂高岳を望む上宝村カ ルカヤ(現高山市)の地に温泉付きの土地を取得し、 ここに山荘とロッジを建設した。

この時期、学園は海外にも目を向けており、その第一 弾はアメリカのオハイオ大学との姉妹校提携であった。



完成した三浦記念図書館(現総合情報センター)



恵那キャンパス



オハイオ大学と姉妹校提携(1973年)



新穂高山荘



フレッシュマンキャンプで学生と一緒に白根山に登る創立者(1971年)



受け継がれる創立者の遺志

創立者 三浦幸平逝去

学園の創立者であり、理事長・学園長・中部工業大学長の三浦幸平が、1975年(昭和50年)6月7日逝去し、学園は深い悲しみに包まれた。

日ごろは極めて健康であったが、多年にわたる激務の疲れもあって、1974年(昭和49年)夏ごろから身体に異常を訴え、翌年1月に入院し、治療と療養に専念していた。

多くの人々の励ましを受け、一日も早い回復が望まれ、あらゆる 手立てが尽くされたがその甲斐もなく、1975年(昭和50年)6月7日 息をひきとった。享年84歳。

学園葬は6月27日、名古屋市民会館大ホールにおいて、しめやかな中にも荘厳に営まれた。葬儀に参列した2,500人余におよぶ広範な各層の方々が創立者の功績と遺徳を偲び、別れを惜しんだ。

48歳で学園を創立し、戦争による幾多の苦難を乗り越え、72歳にして春日井の地に中部大学の前身である中部工業大学を興した創立者。技術教育の理想を実現し学園の礎を築いた生涯であった。



学園葬(名古屋市民会館)であいさつする山田和夫学園長



友人代表(栗本祐一名古屋商科大学長)の弔辞

1983

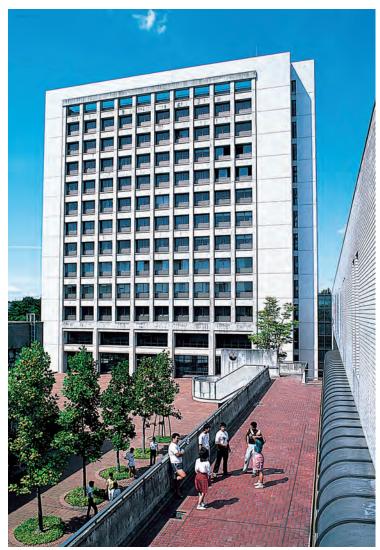
中部工業大学の充実と発展 名古屋第一高等学校と名称変更し日進へ移転

学園の運営は新しい世代へと移行し、山田和夫新理 事長・学園長を中心に、社会に開かれた学園を目指し て積極的な取り組みが開始された。

大学院の充実に全力を傾け、次々と拡充して、1979年(昭和54年)4月の工業物理学専攻博士課程の設置により、工学部8学科のすべてに博士課程が設置された。

次いで、名古屋第一工業高等学校の充実に着手し、 1974年(昭和49年)4月、時代の要請に応えるべく普 通科を再開し、1976年(昭和51年)4月からは校名も "工業"をとって名古屋第一高等学校と改めた。さらに、教育環境を整えるために、愛知郡日進町(現日進市)三本木に全面移転を計画し、1981年(昭和56年)3月、すべての移転を完了。将来の発展に向けて新天地で再出発した。

創立者三浦幸平は、1975年(昭和50年)3月に建設が始まった中部工業大学20号館の完成を心待ちにしていたが、完成を見届けることなく逝去。20号館の最上階には、創立者を偲んで三浦幸平記念室が設けられた。



完成した中部工業大学20号館とプラザ(1976年8月完成)



中部工業大学20号館12階の三浦幸平記念室 (現三浦幸平メモリアルホール内へ移設)



建設中の中部工業大学20号館(1975年3月着工)

昭和50年~58年



完成した名古屋第一高等学校日進キャンパス

1975(昭50)4 中部工業大学附属高等学校第3代校長に佐光義民就任

6 学校法人三浦学園創立者、理事長·学園長·中部工業大学長三浦幸平逝去学校法人三浦学園第2代理事長、中部工業大学第2代学長に山田和夫就任

1976(昭51)3 中部工業大学研修センター完成

4 中部工業大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程と 建築学専攻修士課程を合わせて建設工学専攻修士課程とし、 また、建築工学専攻博士課程、工業化学専攻博士課程を設置 名古屋第一工業高等学校を名古屋第一高等学校に名称変更

1977 (昭52) 5 春日井キャンパスで簡易郵便局が業務開始

1978(昭53)3 中部工業大学附属高等学校の電気科を廃止

1979(昭54)4 中部工業大学大学院工学研究科に工業物理学専攻博士課程を設置 名古屋第一高等学校の一部が「愛知郡日進町(現日進市)」に移転開始

(1981.3移転完了)

11 名古屋第一高等学校日進校舎完成披露および学園創立40周年記念祝賀会 『三浦学園の四十年』刊行

1981 (昭56) 10 中部工業大学に新附属三浦記念図書館、情報処理センター(現総合情報センター)、体育・文化センターが完成

1982(昭57)4 名古屋第一高等学校第6代校長に松原光雄就任

三浦会館完成

4 中部工業大学工業専門学校(電子機械工学科、電子工学科、情報処理学 科)を開校、初代校長に澤木汀二就任

中部工業大学附属高等学校を中部工業大学附属春日丘高等学校に名称変 更(男女共学となる)

中部工業大学附属春日丘高等学校第4代校長に渡邊肇就任



名古屋第一高等学校日進キャンパス起工式(1978年)



名古屋第一高等学校日進キャンパスの建設



名古屋第一高等学校日進校舎(右は体育館、左が本館)



名古屋第一高等学校日進校舎での初の入学式

1983 (昭58) 2

中部工業大学工業専門学校開校 新附属三浦記念図書館、体育・文化センター完成

1978年(昭和53年)頃は、多くの学校では、10年先の15歳人口(その3年後には18歳人口)の急減に対する危機感はまだまだ薄かったが、本学園は当時すでに強い危機感を持ち、名古屋第一高等学校の校舎移転が完了した後、ただちに中・長期構想の実現に向かって始動した。

学園発祥の地である鶴舞校地は、名古屋第一高等学校が日進に移転後、新しい構想のもとに増改築して三浦会館(現三浦記念会館)とした。三浦会館の構想は1980年(昭和55年)から検討に入り、その利用について次のような構想が打ち出された。

- ・専修学校制度における専門学校(1983年工業系、 1984年度以降に文科系)の設置
- ・生涯教育を視野に入れた各種教育の事業化
- ・情報化社会における学園と地域社会の交流の場と しての会館の利用

この構想に基づいて、1983年(昭和58年)4月、中部 工業大学工業専門学校を開校した。

また、大学では、新附属三浦記念図書館、情報処理 センター(現総合情報センター)、体育・文化センター、 中部工業大学研修センター(現中部大学研修セン ター)が完成した。



新附属三浦記念図書館



体育・文化センター



中部工業大学研修センター



三浦会館



中部工業大学工業専門学校の第1回入学式(1983年)



総合大学の誕生

1984(昭59)4

中部工業大学を中部大学に名称変更

経営情報学部(経営情報学科)、国際関係学部(国際関係学科・ 国際文化学科)を設置、3学部10学科の総合大学として出発 中部工業大学附属春日丘高等学校を中部大学附属春日丘高 等学校に名称変更

中部工業大学工業専門学校を中部大学工業専門学校に名称
変更

1 中部大学創立20周年記念式典・祝賀会

1985 (昭60) 3 名古屋第一高等学校の電子科を廃止

4 中部大学附属春日丘高等学校を大学北側に新築移転 中部大学工業専門学校を中部大学技術文化専門学校に名称 変更し、商業実務専門課程(秘書学科、情報経理学科)を設置

11 中部大学附属春日丘高等学校、カナダのケローナ・セカンダ リースクールと姉妹校提携

1987(昭62)1 大泉寺駐車場と三幸橋が完成

3 中部大学の工学部生産機械工学科を廃止

1988(昭63)4 名古屋第一高等学校第7代校長に馬渡一生就任

12 三浦学園創立50周年記念の会



中部大学国際関係学部の授業

中部工業大学を中部大学に名称変更、 経営情報学部・国際関係学部を設置 中部大学附属春日丘高等学校を新築移転

大学は1984年(昭和59年)4月に、新たに2学部を設置して総合 大学を目指すこととなり、着々と準備が進められた。経営情報学部 (経営情報学科)、国際関係学部(国際関係学科・国際文化学科)の 2学部は、1983年(昭和58年)12月認可となり、大学開学20周年を 迎えた1984年(昭和59年)4月、中部工業大学から中部大学に名 称変更し、総合大学として新たな出発をした。

1983年(昭和58年)4月に中部工業大学附属高等学校から校名変更した中部工業大学附属春日丘高等学校は男女共学となり、女子生徒の制服を制定するとともに男子生徒の制服も新たにした。さらに1984年(昭和59年)、大学の名称変更に伴い、中部大学附属春日丘高等学校と名称変更した。また、1990年(平成2年)にピークを迎える高校生急増期に備えるため、大学の北側に校舎を新築移転することを決定。体育館とグラウンドの完成に続き、1984年(昭和59年)に本館が完成、翌年には北校舎が完成し、1985年(昭和60年)3月に移転を完了した。中部大学附属春日丘高等学校にとって大きな転換期であり、次の展開への第一歩でもあった。



名称変更した中部大学技術文化専門学校



中部大学附属春日丘高等学校の校舎



中部大学附属春日丘高等学校とケローナ・セカンダリースクールとの交歓会



中部大学附属春日丘高等学校では、女子生徒も入学



学園の拡充

1989(平元)3 三浦学園幸友会設立

4 中部大学女子短期大学(日本語日本文化学科、英語英米文化学科)を開学 初代学長に山田和夫就任

中部大学技術文化専門学校第2代校長に前田松夫就任

6 中部大学女子短期大学開学記念式典•祝賀会

10 名古屋第一高等学校第8代校長に山田和夫就任 (8月名古屋第一高等学校長馬渡一生逝去)

11 三浦学園創立50周年·中部大学開学25周年記念式典·祝賀会 『三浦学園五十年史』刊行

中部大学、マレーシア科学大学と交流協定締結

1990(平2)4 名古屋第一高等学校第9代校長に髙田富雄就任

春日丘中学校開校、初代校長に渡邊肇就任

中部大学附属春日丘高等学校を春日丘高等学校に名称変更

春日丘中学校・高等学校、カナダのジョージプリンガル・セカンダリー・スクールと姉妹校提携

10 創立者生誕100周年記念の会

春日丘中学校開校披露並びに春日丘高等学校創立25周年記念式典・祝賀会

1991 (平3) 4 中部大学大学院に国際関係学研究科国際関係学専攻修士課程を設置

中部大学女子短期大学第2代学長に三浦朱門就任

1992(平4)3 春日丘高等学校の機械科を廃止

4 春日丘高等学校第5代校長・春日丘中学校第2代校長に山田啓一就任

中部大学技術文化専門学校の電子機械工学科を電子機械学科に、電子工学科を電子情報学科に名称変更

5 三浦幸平メモリアルホール開館披露・祝賀会

1993 (平5) 4 中部大学に留学生別科を設置(2007.3 廃止)

中部大学技術文化専門学校の工業専門課程3学科に修業年限3年を、商業実務専門課程にマネジメント学科を設置

11 中部大学技術文化専門学校開校10周年記念式典・祝賀会



中部大学工学センター棟(1991年3月)

中部大学女子短期大学開学、春日丘中学校開校三浦幸平メモリアルホール開館

学園の女子教育の構想は、中部大学附属春日丘高 等学校の男女共学化、中部大学技術文化専門学校に 商業実務専門課程(秘書学科、情報経理学科)の設置、 中部大学の2学部(経営情報学部、国際関係学部)設置 などにはじまり、1989年(平成元年)4月、中部大学女 子短期大学の開学となって花開いた。

女子短期大学設置は、春日井市をはじめ地域社会からの強い要請もあり、これに応えるべく1986年(昭和61年)に準備室を設置して準備が進められた。この構想の中には、中部大学附属春日丘高等学校の男女共学化構想と、その女子生徒受け入れ、さらに中部大学附属春日丘高等学校が移転した後の校地の活用も含まれていた。

1983年(昭和58年)から1989年(平成元年)の6年間で、春日井キャンパスの雰囲気は一転して華やかな学園

へと変身していった。

創立者生誕100年の記念にあたる1990年(平成2年)には、中・高一貫教育の春日丘中学校が開校した。 近隣にはない特色ある学校を目指した春日丘中・高6年一貫教育の啓明コースが誕生した。当時、県内には12校の私立中学校があったが、いずれも戦後の学制改革の時に設置された学校が多く、春日丘中学校は41年ぶりに設立されたこともあって社会の注目を集めた。

創立者生誕100年の記念事業として三浦幸平メモリアルホールの建設事業がスタートした。1990年(平成2年)12月8日の学園創立記念日に着工した同ホールは1992年(平成4年)3月竣工した。

1993年(平成5年)には、日本の大学で学びたいという留学希望者のための、日本語と日本文化を教授する留学生別科を設置した。



中部大学女子短期大学



マレーシア科学大学との交流協定締結調印式(1989年)



春日丘中学校登校風景



中部大学女子短期大学の入学式

1004 平成6年~14年



次代への対応

1994(平6)4

1997(平9)4

名古屋第一高等学校に機械電気システム科を設置 (機械、自動車、電気の3コースを設ける)

10 中部大学開学30周年記念行事

1995 (平7) 1 中部大学に国際交流センター米国駐在事務所を開設 (2001.12 廃止)

4 中部大学女子短期大学第3代学長に山田和夫就任 1996(平8)3 名古屋第一高等学校の機械科、自動車科、電気科を廃止

> 中部大学大学院に経営情報学研究科経営情報学専攻 修士課程を設置

中部大学技術文化専門学校第3代校長に田中俊夫就任 中部大学大学院開設25周年記念の会

名古屋第一高等学校が男女共学化

春日丘高等学校第6代校長・春日丘中学校第3代校長 に犬飼武就任

中部大学技術文化専門学校の工業専門課程電子情報 学科を電子技術学科に、情報処理学科を情報システム 学科に名称変更、また、工業専門課程に医療技術学科 を、商業実務専門課程にビジネス情報学科を設置

1998 (平10) 4 中部大学に人文学部(日本語日本文化学科、英語英米文化学科、コミュニケーション学科)を設置

中部大学大学院経営情報学研究科に経営情報学専攻博士課程を設置

中部大学技術文化専門学校に医療専門課程(臨床工学技士科)を設置

12 三浦学園創立60周年記念演奏会・記念の会

1999(平11)3 中部大学女子短期大学閉学

中部大学初代総長に山田和夫・第3代学長に飯吉厚夫就任 中部大学工学部工業化学科を応用化学科に名称変更 中部大学技術文化専門学校工業専門課程に高度情報 研究科を設置、電子機械学科を機械システム学科に、 ビジネス情報学科を情報経理学科に名称変更



ロタンダ贈呈式(オハイオ大学より大学開学30周年の記念として)

11 三浦学園創立60周年·中部大学開学35周年記念講演会·祝賀会、『三浦学園六十年史』刊行

2000 (平12) 4 中部大学工学部工業物理学科を改組し、情報工学科を設置

名古屋第一高等学校第10代校長に塩谷伸晴就任

10 春日丘中学校10周年記念行事

12 学校法人三浦学園理事長·学園長·中部大学総長山田 和夫逝去

2001 (平13) 1

学校法人三浦学園第3代理事長・学園長に大西良三就任 中部大学に応用生物学部(応用生物化学科、環境生物 科学科)を設置

中部大学大学院国際関係学研究科に国際関係学専攻 博士課程を設置

中部大学技術文化専門学校の工業専門課程に電子システム学科を設置

2002(平14)3

中部大学技術文化専門学校の工業専門課程電子技術学科、医療技術学科、高度情報研究科を廃止

4 中部大学経営情報学部に経営学科を、人文学部に心 理学科を設置

26

総合大学の充実をめざして 中部大学女子短期大学を人文学部へ改組 応用生物学部を設置

1975年(昭和50年)代後半から思い切った新構想を次々と打ち出して整備拡充を行い、三浦学園は6つの学校を擁する総合学園へと発展してきたが、学生・生徒の急減期を迎え、その対応を迫られることとなった。

名古屋第一高等学校では1994年(平成6年)4月、既設の機械科・自動車科・電気科が機械電気システム科に再編され、また1997年(平成9年)4月には普通科が男女共学となった。

大学では1996年(平成8年)4月、大学院経営情報学研究科経営情報 学専攻の修士課程を、1998年(平成10年)4月には博士課程を設置した。また1996年(平成8年)4月には中部高等学術研究所が発足した。さらに中部大学女子短期大学を改組転換して、1998年(平成10年)4月人文学部を設置した。その後、2000年(平成12年)4月、工学部に情報工学科を設置。翌2001年(平成13年)には応用生物学部(応用生物化学科、環境生物科学科)を設置して、名実共に総合大学へと進化していった。

中部大学女子短期大学は、1998年(平成10年)3月の閉学式とそれに続く第9回卒業式をもってすべての役割を終え、2.242人が巣立った。

中部大学技術文化専門学校では、1997年(平成9年)に新たに医療技術学科、ビジネス情報学科、翌1998年(平成10年)に臨床工学技士科の3学科を設置し、医学と工学の両分野にまたがる医療機器のスペシャリストを育成する学科が誕生した。



中部大学応用生物学部(30号館)



中部大学女子短期大学閉学式での記念碑の除幕式



女子短大卒業パーティ(後列左より山田和夫学長、 赤塚行雄副学長、一人おいて三浦朱門学監)

労用 表 不 実 型 に 白 か ら 紙 主 芽 様 未 号 目

学園葬で遺影に向かう飯吉葬儀委員長

献花をする学生・生徒代表

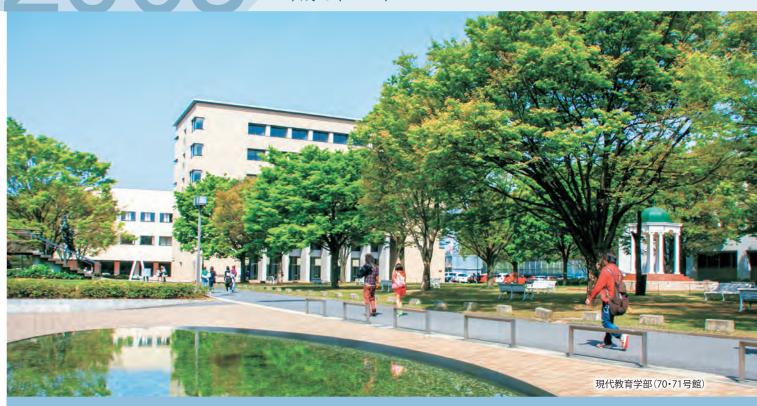
山田和夫理事長・学園長をおくる



オハイオ大学グリドン学長

2000年(平成12年)12月24日に急逝した山田和夫理事長・学園長・中部大学総長の学園葬は、翌2001年(平成13年)2月28日に中部大学講堂にて、飯吉厚夫学長を葬儀委員長として、しめやかに執り行われた。当日は、あいにくの雨にもかかわらず内外から多くの来賓、学園関係者が参列し、その数は2,600人余を数えた。黙祷後、大学混声合唱団によるシューベルトの「聖なるかな」が響き渡り、会場は厳かな雰囲気に包まれた。オハイオ大学グリドン学長をはじめ代表各位が、故人の突然の死を悼み、数々の業績を讃え、また様々なエピソードを綴った追悼の辞が述べられた。 弔電奉読後、再び混声合唱団がクロスの「憩いの園」を霊前に捧げ、最後に大西良三理事長が御礼を述べて、献花に移った。そして大学管弦楽団が、生前の故人が最も愛した曲の一つであるベートーベンの交響曲第七番第二楽章を演奏する中で献花を終えた会葬者に見送られ、遺族の手に抱かれた遺骨は小雨に煙る会場を後にした。

2003 平成15年~21年



新たな教育への挑戦

2003 (平15) 4

11

中部大学大学院工学研究科の工業化学専攻を応用化学専 攻に名称変更

名古屋第一高等学校を中部大学第一高等学校に名称変更中部大学技術文化専門学校を中部大学技術医療専門学校に名称変更、中部大学技術医療専門学校の工業専門課程に機械・電子学科、医療専門課程に理学療法学科を設置中部大学技術医療専門学校開校20周年記念講演会・祝賀会

2004(平16)3 中部大学工学部の工業物理学科を廃止

中部大学技術医療専門学校の工業専門課程機械システム 学科、電子システム学科、商業実務専門課程情報経理学科 を廃止

4 学校法人三浦学園を学校法人中部大学に名称変更中部大学人文学部に歴史地理学科を設置

中部大学工学部の電気工学科を電気システム工学科、電子工学科を電子情報工学科、土木工学科を都市建設工学 科に名称変更

中部大学大学院国際人間学研究科に博士課程(国際関係 学専攻、言語文化専攻、心理学専攻)、工学研究科に情報工 学専攻博士課程を設置

三浦会館を三浦記念会館に名称変更

2005(平17)3 法人所在地「名古屋市中区千代田五丁目14番22号」を「春日井市松本町1200番地」に変更

春日井市道5995号線(松本跨道橋)完成

4 中部大学第2代総長に飯吉厚夫、第4代学長に山下興亜就任 中部大学応用生物学部に食品栄養科学科を設置 中部大学大学院に応用生物学研究科応用生物学専攻修士 課程を設置

春日丘高等学校第7代校長・春日丘中学校第4代校長に

野々部幸藏就任

6 立体駐車場(704台収容)完成

11 春日丘高等学校開校40周年記念式典・祝賀会

2006 (平18) 4 中部大学大学院経営情報学研究科に経営学専攻修士課程

中部大学に生命健康科学部(生命医科学科、保健看護学 科)を設置

中部大学第一高等学校第11代校長に藤本英昭就任

2007(平19)3 中部大学留学生別科を廃止

4 中部大学大学院応用生物学研究科に応用生物学専攻博士 理犯を記録

中部大学技術医療専門学校の工業専門課程機械・電子学科を機械・電子・情報学科に、また商業実務専門課程秘書学 科を医療事務総合学科に名称変更

2008(平20)3 神領駅北口スクールバスのりば完成

中部大学大学院工学研究科の工業物理学専攻を廃止 中部大学技術医療専門学校の工業専門課程情報システム 学科を廃止

4 中部大学に現代教育学部(幼児教育学科、児童教育学科) たショ

中部大学大学院国際人間学研究科に歴史学・地理学専攻 修士課程を設置

2009(平21)4

中部大学国際関係学部に中国語中国関係学科を設置 春日丘高等学校第8代校長・春日丘中学校第5代校長に梅 津敬就任

11 学校法人中部大学創立70周年記念講演会·祝賀会 『学校法人中部大学七十年史』刊行

28

学校法人中部大学へ法人名変更 生命健康科学部、現代教育学部を設置 中部大学第一高等学校へ、中部大学技術医療専門学校へ、名称変更

中部大学は2006年(平成18年)4月に生命健康科学部(生命医科学科、保健看護学科)を、2008年(平成20年)4月には現代教育学部(幼児教育学科、児童教育学科)を設置した。また翌2009年(平成21年)4月には、国際関係学部に中国語中国関係学科を設置し、7学部24学科の総合大学となった。

一方、2003年度(平成15年度)に名古屋第一高等学校は、中部大学第一高等学校に名称変更し、2009年度(平成21年度)から普通科に一貫コースを設置して中部大学との一層の高大連携を図っている。

また、開校20周年を迎えた中部大学技術文化専門 学校は2003年(平成15年)4月、医療専門課程に理学 療法学科を設置して、中部大学技術医療専門学校と 名称変更した。



中部大学技術医療専門学校開校20周年記念講演会



市道5995号線(松本跨道橋)開通式



中部大学生命健康科学部(50.51号館)



神領駅北口スクールバスのりば



春日丘高等学校開校40周年記念式典



持続可能な未来のために

2010(平22)4

中部大学応用生物学部食品栄養科学科に食品栄養科学専攻と管理栄養科学専攻を設置

中部大学生命健康科学部に理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科を設置中部大学大学院国際人間学研究科に歴史学・地理学専攻博士課程を設置

2011(平23)3

中部大学経営情報学部に経営会計学科を設置

中部大学技術医療専門学校を閉校

中部大学生命健康科学部にスポーツ保健医療学科を設置 中部大学大学院に生命健康科学研究科生命医科学専攻修士課程、看護学 専攻修士課程を設置

6 学校法人中部大学第4代理事長に飯吉厚夫就任

2012 (平24) 4 中部大学大学院に教育学研究科教育学専攻修士課程を設置

| 春日丘高等学校第9代校長・春日丘中学校第6代校長に北原和彦就任

2013 (平25) 4 中部大学大学院生命健康科学研究科に生命医科学専攻博士課程を設置 春日丘高等学校第10代校長・春日丘中学校第7代校長に二村啓就任

2014(平26)4 中部大学工学部にロボット理工学科を設置

中部大学大学院工学研究科に創造エネルギー理工学専攻修士課程を設置 中部大学大学院生命健康科学研究科にリハビリテーション学専攻修士課 程を設置

中部大学第一高等学校第12代校長に西山隆久就任

11 中部大学開学50周年記念式典•講演会•祝賀会



中部大学武道体育館

大学開学50周年 学園はサステナブル路線へ

中部大学は2010年(平成22年)4月、生命健康科学部に理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科を、2011年(平成23年)4月にスポーツ保健医療学科を設置。2014年(平成26年)4月には工学部にロボット理工学科を設置した。2014年は創立者・三浦幸平が「大学が大学らしくなるには50年かかる。50年経った時、どのような大学になっているかが大事だ」とした大学開学50周年を迎えた年で、11月には記念式典・講演会・祝賀会と、学術協定大学の学長による国際フォーラム「大学におけるグローバル人材の育成と国際協力」が華々しく催された。この他にも、開学50周年記念夢構想事業としてさまざまな事業が展開された。

一方、学園は創立以来次々と学校を設置、入学志願者も年々増加し、成長・拡大を続けてきたが、持続可能な未来のために、サステナブル(持続可能な)路線に舵を切っていった。



中部大学 14号館



中部大学 52号館



中部大学開学50周年記念式典



藤原洋記念超伝導・持続可能エネルギー研究センター



中部大学開学50周年記念 第2回学術協定大学の学長による国際フォーラム「大学におけるグローバル人材の育成と国際協力」(学長サミット)

平成22年~令和元年



不言実行館 ACTIVE PLAZA



アクティブホール



スチューデント・コモンズ



ラーニング・コモンズ

2015 (平27) 4

不言実行館ACTIVE PLAZA完成

11

春日丘高等学校開校50周年•春日丘中学校開校25周年記念式典

2016 (平28) 4

春日丘高等学校を中部大学春日丘高等学校に、春日丘中学校を中部大学春日丘中学校に校名変更

中部大学経営情報学部に経営総合学科を設置(経営情報学科、経営学科、経営会計学科を統合)

中部大学国際関係学部に国際学科を設置(国際関係学科、国際文化学科、 中国語中国関係学科を統合)

中部大学大学院工学研究科に創造エネルギー理工学専攻博士後期課程を 設置

創発学術院を設置

2017(平29)4

中部大学第5代学長に石原修就任

中部大学現代教育学部の児童教育学科を現代教育学科に名称変更し、現代教育学科に現代教育専攻、中等教育国語数学専攻を設置

天文台天体観測所開所

2018(平30)4

中部大学工学部電気電子システム工学科を設置(電気システム工学科、電子情報工学科を統合)

中部大学工学部に宇宙航空理工学科を設置

中部大学大学院工学研究科にロボット理工学専攻修士課程を設置

2019(平31)4

中部大学大学院生命健康科学研究科に保健医療学専攻修士課程を設置



9号館からメインストリートを望む

不言実行館ACTIVE PLAZA開館 中部大学春日丘高等学校、中部大学春日丘中学校に名称変更

中部大学が開学50周年を迎えた翌年2015年(平成27年)4月に、春日井キャンパスの中央に「不言実行館ACTIVE PLAZA」が開館した。学生・生徒が自由に集い、自由な発想で使用でき、さまざまな用途に利用可能なスペースで、人間力を高める拠点として利用されている。

また、2015年(平成27年)は春日丘高等学校が開校50周年、春日丘中学校が開校25周年を迎え、11月に記念式典を開催した。これを機に、さらなる学園の一体化を目指して学園設置各校に「中部大学」の冠を付けることとし、2016年(平成28年)4月より春日丘高等学

校を中部大学春日丘高等学校、春日丘中学校を中部大学春日丘中学校に名称変更した。

一方、中部大学は、2016年(平成28年)4月に経営情報学部の既存の3学科を統合して経営総合学科を、国際関係学部も同様に3学科を統合して新たに国際学科を設置、2018年(平成30年)4月には工学部の電気システム工学科と電子情報工学科を統合した新学科である電気電子システム工学科と、地域の宇宙航空産業を担う人材育成のために宇宙航空理工学科を設置するなど、時代・社会のニーズに合わせた学部・学科の再編を進めている。



京都大学高等研究院と学術協定を締結(創発学術院設置)



天文台天体観測所



名称変更となった春日丘高等学校、春日丘中学校



春日丘高等学校開校50周年·春日丘中学校開校25周年記念行事 第1部「毛利衛氏講演会」

Chubu University 中部大学

中部大学は、1962年(昭和37年)に中部工業短期大学として発足、1964年(昭和39年)に4年制の中部工業大学に改組して工学部4学科でスタートした。

その後、1984年(昭和59年)に経営情報学部と国際関係学部を設置し、中部大学に名称変更した。1998年(平成10年)には人文学部を設置し、理系分野から文系分野までを含む総合大学として発展してきた。さらに、2001年(平成13年)に応用生物学部、2006年(平成18年)に生命健康科学部、2008年(平成20年)に現代教育学部を設置し、現在は7学部26学科4専攻を擁する総合大学となった。

また、大学院は、工学研究科、経営情報学研究科、国際人間学研究科、応用生物学研究科、生命健康科学研究科、教育学研究科の6研究科19専攻の体制を整え、教育研究活動を進めている。





















工学部

機械工学科 都市建設工学科 建築学科 応用化学科 情報工学科

ロボット理工学科 電気電子システム工学科 宇宙航空理工学科



College of Engineering

工学部では21世紀の社会からあてにされる「人々の福祉の向上に貢献できる技術者」の育成を目指して、創造的実践能力とそれを生かすための人間力を身につけるための学修・教育目標を設定し、実践している。

工学部の特色は、①体験学習による「ものづくり」に対するデザイン能力、②社会環境の変化に対応するために必要な工学基礎、③チームで仕事をするためのコミュニケーション能力、④個の人間形成に必要な教養、⑤総合的視野の養成である。このような知識・能力を身につけるための創成科目、最先端のCAD・CAM科目や「持続学のすすめ」による教育プログラム、さらにはJABEE(日本技術者教育認定機構)により認定された技術者教育プログラムを用意している。





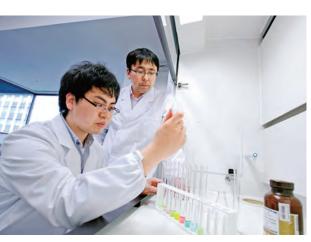
機械工学科



都市建設工学科



建築学科



応用化学科



情報工学科



電気電子システム工学科



ロボット理工学科



宇宙航空理工学科



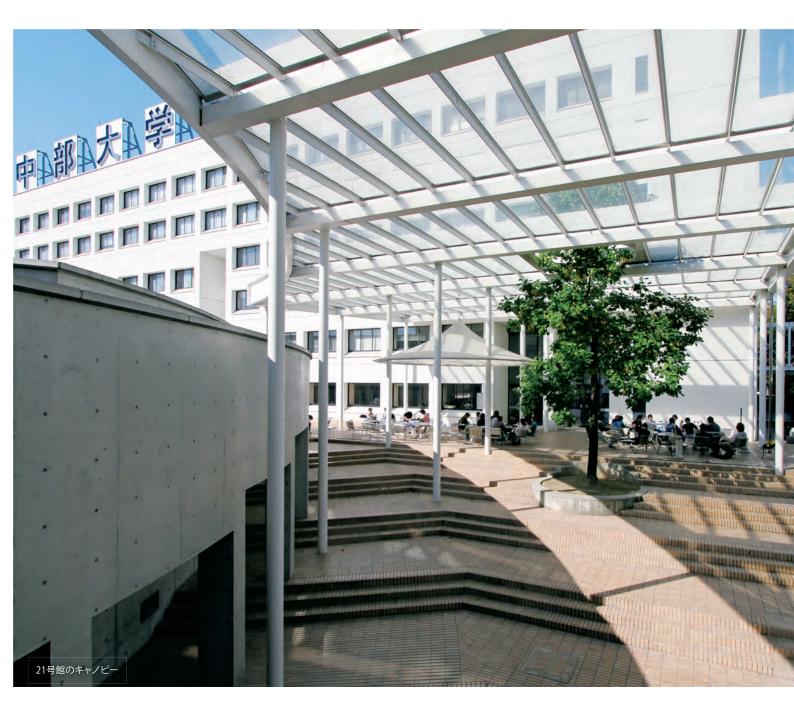
College of Engineering



経営情報学部

経営総合学科

経営情報学部は2016年(平成28年)に既存の3学科を統合して「経営総合学科」を設置。経営総合学科は、「豊かな教養、自立心と公益心とともに、企業経営と情報技術に関する基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、自ら学び続ける能力を身につけ、広く国際的視野から物事を考え実行する専門職業人、有識社会人となる有為な人材の育成」を目標としている。学生の多様なニーズにあったきめ細かい履修指導と新たな教育内容および教育手法を取り入れることにより、経営情報学分野の基礎・基盤的な素養をもとにしていずれかの領域の専門性を身につけ、自立的な学修習慣を体得し、社会において積極的に活躍する職業人の養成を目指している。



College of Business Administration



経営総合学科





21号館ラウンジ 22号館講義室

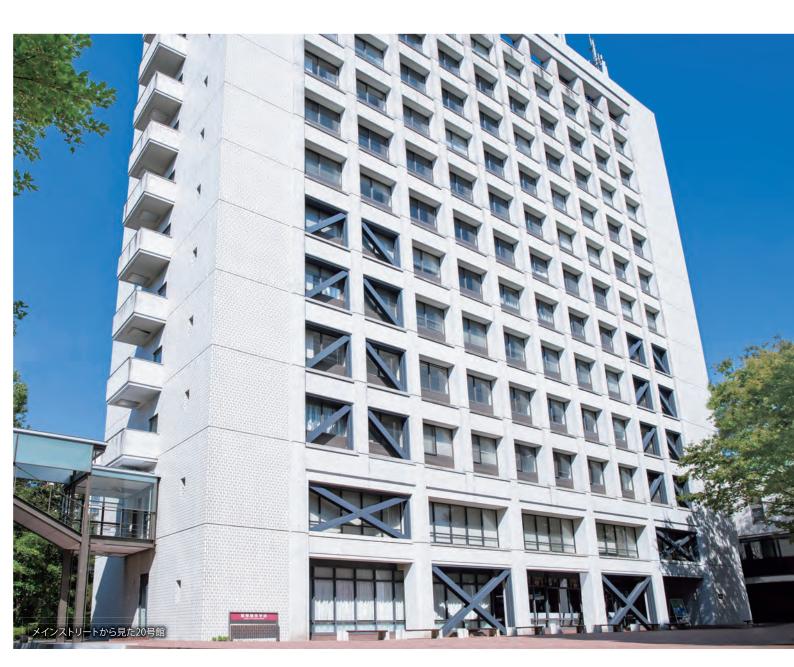


国際関係学部

国際学科

現代社会では、資源やエネルギーの不足、森林や生物多様性の喪失、地球温暖化・気候変動など、 地域や人類社会全体の「持続可能性」が問われており、このような時代の変化を背景に、世界を動か す政治、経済、民族、文化、環境などの諸要因を、総合的・包括的・相関的に考察するのが国際関係 学部である。

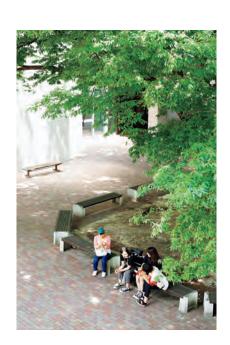
国際関係学部は2016年(平成28年)に既存の3学科を統合して「国際学科」を設置。国際学科は、多様な学問領域・地域・文化・語学を学生個々の関心と将来設計に応じて自由自在に学べる教育システムを導入。多岐にわたる分野の専門家で構成される教員が個々の学生に応じた指導を行い、世界の人々の生活に寄り添った、広く柔軟な「国際学」を学生と教員が共に学び、「行動できる、心豊かな人間」を育成している。



College of International Studies



国際学科





民族資料博物館



人文学部

日本語日本文化学科

英語英米文化学科

コミュニケーション学科

心理学科

歴史地理学科

人文学は人間性を研究する学問として始まり、文学、哲学、歴史といった主に 言葉とプリント・メディアによるテキストを扱う領域として発展し、現代になって 心理学、社会学などが含まれる人文科学となった。

人文学部は、日本語日本文化学科、英語英米文化学科、コミュニケーション学科、心理学科、歴史地理学科の5学科からなり、言語、文化、メディア、社会、心理、歴史などにかかわる人間の営みについてグローバルな視点から深く学ぶことができる。各学科とも、少人数のグループ学修やフィールドワークを通して、学生と教員とが生き生きとした討論を交わしながら研究を進めており、まさに人間の本質的な部分を見つめ、思考するための、人間的な血の通った学びの場となっている。



College of Humanities



日本語日本文化学科



英語英米文化学科



コミュニケーション学科



心理学科



歴史地理学科



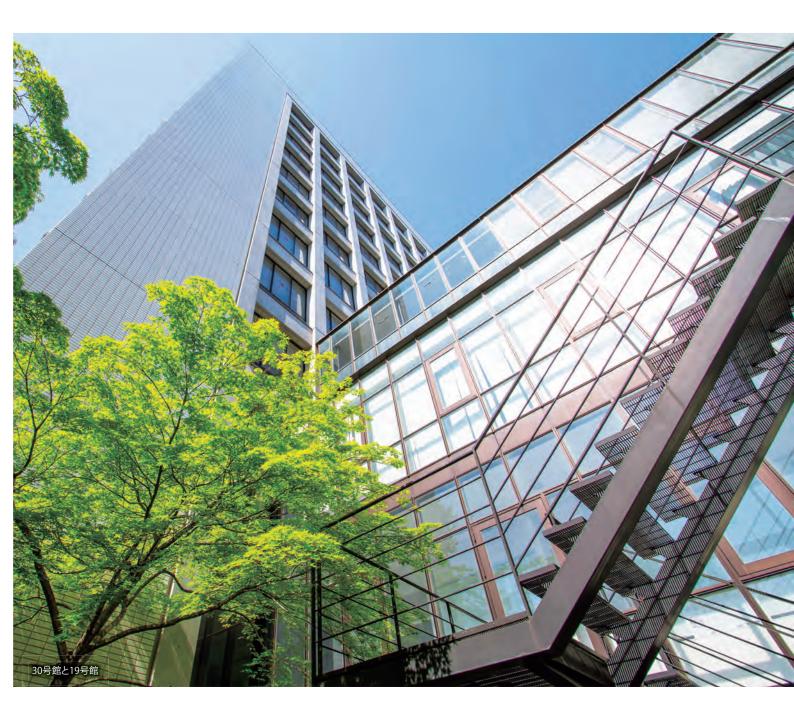
応用生物学部

応用生物化学科

環境生物科学科

食品栄養科学科 (食品栄養科学専攻・ 管理栄養科学専攻) 応用生物学部は私たちの社会と生活に欠かせない巨大な科学となり急速に発展し続けるバイオサイエンスとバイオテクノロジーを専門とする学部で、生命、環境、食の3つの領域に対応する応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学科(食品栄養科学専攻、管理栄養科学専攻)の3学科において、21世紀のバイオ産業、環境ビジネス、食品産業を担う幅広い人材と、バイオを知る管理栄養士の育成に取り組んでいる。

カリキュラムでは、バイオの基礎から先端分野に至る幅広い質の高い教育を実施するとともに、実験教育でも基礎となる分子生物学実験、環境分野におけるフィールド実験や食品プラントを使った食品製造実習、試食会を含む調理学実習など、内容を充実させている。



College of Bioscience and Biotechnology



応用生物化学科



環境生物科学科



食品栄養科学科 食品栄養科学専攻



食品栄養科学科 管理栄養科学専攻



生命健康科学部

生命医科学科

保健看護学科

理学療法学科



College of Life and Health Sciences

生命健康科学部は生命科学の基礎を共通に学びながら、その基礎の上に立って生命と健康を守るための多くの専門性を持つ人材を養成している。

生命医科学科では予防を軸に先端のバイオサイエンス・テクノロジーを学び、新たな視点で医学・医療に貢献できる人材を、スポーツ保健医療学科ではスポーツ科学を通して健康増進に貢献できる人材を養成している。また、生命健康科学部には国家資格の医療系専門職を養成する4学科と2コースがあり、生命と健康を守るため

活躍する看護師・保健師(保健看護学科)、障害の克服を援助する理学療法士(理学療法学科)や作業療法士(作業療法学科)、人工心肺を操作して心臓手術を支援する臨床工学技士(臨床工学科)、多様な検査で健康や病態評価を支援する臨床検査技師(生命医科学科内養成コース)、救急医学の知識を生かして現場と病院をつなぐ救急救命士(スポーツ保健医療学科内養成コース)の7つの医療系専門職を育成している。



生命医科学科



保健看護学科





理学療法学科



臨床工学科



作業療法学科



スポーツ保健医療学科



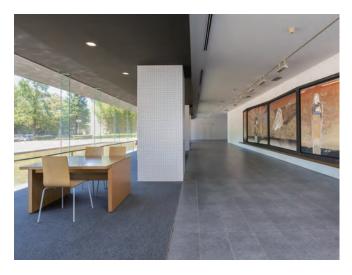


College of Life and Health Sciences



春の息吹と50号館





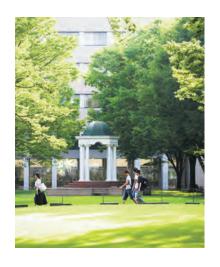
現代教育学部

幼児教育学科

現代教育学科(現代教育専攻・中等教育国語数学専攻)

現代教育学部では、幅広い教養と専門理論を学び、保育実習や教育実習など実習・演習を重視し、高い実践力の養成をはかっている。地域の学校に出向いたり、地域の子どもたちを招いたりする学生主体のアクティブなプログラムも実施している。そうした学びを通して、保育所や認定こども園、幼稚園等で活躍する保育士・幼稚園教諭、小学校や中学校に多くの卒業生を送り出している。また、障がいのある子どもが必要とする特別な支援の方法を学び、子ども一人一人に寄り添うことができる教育の専門家養成に力を入れており、特別支援学校に職を得た卒業生も少なくない。

中部大学の建学の精神は「不言実行、あてになる人間」であり、確かな専門性と豊かな教育実践力をそなえることで、子どもから信頼され、保護者や同僚、社会からも「あてにされる」保育者・教育者の養成を目指している。





College of Contemporary Education



幼児教育学科



現代教育学科 現代教育専攻



現代教育学科 中等教育国語数学専攻





あつまれ! わんぱく隊

理科実

大学院

工学研究科

経営情報学研究科

国際人間学研究科

応用生物学研究科

生命健康科学研究科

教育学研究科

中部大学大学院は学部の学問領域をカバーする6研究科19専攻体制を整えている。

学部から大学院、さらに学内の研究所・センターと連動する「知の体系」において大学院では高度な研究能力、その基礎となる豊かな学識の修得を目標に、社会の第一線で通用する研究者、高度な専門職業人の育成に努めている。

工学研究科は機械工学専攻、電気電子工学専攻、建設工学専攻、応用化学専攻、情報工学専攻、創造エネルギー理工学専攻、ロボット理工学専攻の7専攻があり、1971年(昭和46年)、中部地区の工科系私立大学の中で最初に設置された実績を基に、高度な専門研究をきわめた多くの技術者や研究者を社会に送り出し、広く産業界や研究分野の発展に寄与している。

経営情報学研究科は経営情報学専攻と経営学専攻 (修士課程MOT型MBA)からなり、経営学と情報科学を融合した教育課程により、経営の分かる情報技術専門家や情報技術を活用できるビジネスリーダーと、そうした融合分野の教育・研究者を育成している。

国際人間学研究科は国際関係学専攻、言語文化専攻、心理学専攻、歴史学・地理学専攻の4専攻があり、人文系と社会系の視点から社会文化の中の人間を地球

規模で総合的に研究し、新領域創出に向けた国際人間 学の探究と構築を目標としている。

応用生物学研究科は応用生物学専攻があり、「生命・食・環境」をテーマに最先端のバイオ研究に挑んでおり、バイオサイエンス・バイオテクノロジーを基盤とする複合的な学問領域において教育研究を行い、有能な人材の育成および研究を通して社会に貢献することを目的としている。

生命健康科学研究科は生命医科学専攻、看護学専攻、リハビリテーション学専攻、保健医療学専攻の4専攻があり、人間の健康を保持・増進等するための「疾病・障害予防」「QOLの向上」「健康増進」を理念として、4つの専攻が有機的に組み合わされた教育課程を設け、科学的根拠に基づく保健医療の実践を探求している。

教育学研究科は教育学専攻があり、「次世代教育」とりわけ青年期までの人格形成の基盤を体系的に支援することができる学術理論、研究能力、実践能力を備えた、保育や教育現場で指導的な役割を果たすことができる高度専門職業人および教育方法学や教師教育学などの分野を専門領域とする教育学研究者を育成することを目標としている。



Graduate School



工学研究科



経営情報学研究科



国際人間学研究科



応用生物学研究科



生命健康科学研究科



教育学研究科



植物工場

キャンパスライフ

クラブ活動

総合大学として11,000人を超える学生が在籍する中部大学では、体育系33、文化系30のクラブ(同好会・準備会含む)、その他5つの公認団体が活動している。ワンキャンパスの中で学部・学科、学年はもとより出身地も異なる学生が同じ目標に向かって汗を流したり、アイデアを出し合ったりし、活発な課外活動が行われている。

フレッシュマンキャンプ

大学創立以来の長い歴史をもつフレッシュマンキャンプは、その名の通り新入生が3泊4日で大学施設・新穂高山荘に宿泊し、豊かな自然の中での山登り、穂高なべ作り、キャンプファイア等のさまざまな活動を通して、コミュニケーションを深める伝統行事である。







クラブ・サークルプラザ

剣道部











硬式野球部

ハンドボール部

Night Walk

中部大学春日井キャンパスから岐阜県恵那市の中部 大学研修センターまでの約42kmを、一晩かけて歩く。 クラブ運営委員会の学生の発案で第1回は1995年(平 成7年)7月8日に開催された。例年参加者のほぼ全員が 完歩している。

中部大学全学学科対抗スポーツ大会

毎年、本学グラウンドにおいて行われる行事で、各 学科が種目優勝、総合優勝を目指して競い合う。

大学祭

学生が主催する学内最大のイベントで、研究発表展や クラブ企画、著名人を招いての講演会やライブ、各種模 擬店など、広大なキャンパスを利用した企画が催される。 名物イベントである自転車耐久レースは、大学祭の夜を 華やかに飾るレースで、スピード部門が周回を競って走 り抜ける迫力は、一見の価値がある。一方、パフォーマン ス部門は自転車の装飾やコスチュームを競い合う。自転 車耐久レースは、見る者に驚きと感動を与えてくれる。

中部大学音楽祭

シンフォニックバンド、混声合唱団、マンドリンクラブ、 管弦楽団、軽音楽部ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケ ストラの合同演奏会。毎年、春日井市民会館で多彩な 演奏を披露している。

成人を祝う会

毎年、成人を迎える学生を祝う大学行事で、三浦幸平 メモリアルホールで行われる。学長はじめ多くの方々か らお祝いの言葉や激励を受け、壇上に用意された燭台 に「希望の灯」をともす。



自転車耐久レース(大学祭)





成人を祝う会

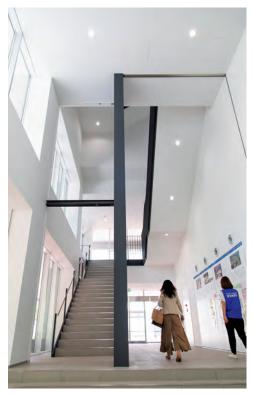






中部大学全学学科対抗スポーツ大会





不言実行館 エントランス



ITALIAN TOMATO Café Jr. (不言実行館ACTIVE PLAZA 6階)



第3学生ホール

国際交流

本学の国際交流は、1973年(昭和48年)アメリカのオハイオ大学と姉妹校提携を結んだのに始まり、現在は24カ国・地域57大学・機関との間で留学生の交流や学術文化の交流を実施している。 国際交流プログラムとして、「海外研修プログラム」と「派遣留学プログラム」があり、学生の学ぶ目的に多彩に応えるもので、毎年250人を超える学生が積極的にこれらのプログラムを活用している。また、海外留学生の受け入れや客員教授の派遣・招へいも行っている。









ジュニアセミナー



アカデミックレクチャー(大学見学会)



キャンパスコンサート

地域交流

本学の地域交流は、エクステンションセンターが中心となり、幅広い年齢層を対象に、地域のまちづくりや人づくりに役立つ「公開講座」を多彩に開催している。

公開講座には、「ジュニアセミナー」「子育てセミナー」の他、大学キャンパスおよび周辺各都市で各市町と共催の「地域連携講座」も開催している。また、大学の講義を聴講生として受講できる「オープンカレッジ」や、小学校・中学校等からの学習支援依頼に対して総合学習を支援する「アカデミックレクチャー」を提供している。

また、キャンパスコンサートは三浦幸平メモリアルホールを会場に、プロの演奏家を招いて開催 し、キャンパスコンサートアドバイザーによる解説を交えながら、多彩なプログラムを届けている。

大学COC事業は、地元春日井市と連携して、大学の持つ人材や技術、知の資産を活用し世代間交流などを通して、地域の再生や活性化に取り組んでいる。

施設



附属三浦記念図書館



武道体育館



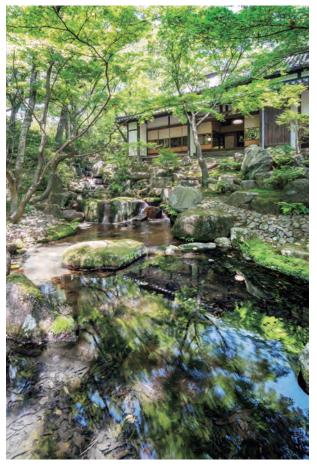
温水プール



全天候型グラウンド



天文台天体観測所





爛柯軒(小茶亭)



工法庵(茶室)

洞雲亭(書院)と庭



潜龍池の鯉



洞雲亭から庭を望む



バードロード



中部大学研修センター(岐阜県恵那市)



新穂高山荘(岐阜県高山市)

Chubu University Daiichi High School 中部大学第一高等学校

中部大学第一高等学校の前身は、学園創立者の三浦幸平が1938年(昭和13年)に創立した名古屋第一工学校である。戦後、新制の常磐高等学校として再スタートし、1957年(昭和32年)に名古屋第一工業高等学校へと名称変更して大きく発展を遂げ、現在の学園を築く基盤となった。

その後、時代の要望に応えて普通科の定員を増加したことに合わせ、1976年(昭和51年)には名古屋第一高等学校へと名称変更し、1979年(昭和54年)には愛知郡日進町(現日進市)に移転した。また、普通科・工業科の再編も進め、普通科では1997年度(平成9年度)より男女共学化を図った。

2003年(平成15年)4月には、中部大学に併設する高校として、高大連携など将来にわたる新たなスクール・アイデンティティーを確立すべく、中部大学第一高等学校へと名称変更した。特に一貫・進学アドバンスコースにおいては、中部大学との連携プログラムを通し自らの将来の進路を的確に選択することができ、近年では毎年100人を超える生徒が中部大学に進学している。

また、2008年(平成20年)にユネスコスクールに加盟し、SDGs(持続可能な開発目標)の観点から教育活動を行い、持続可能な主要を担う人材の育成を見たしている。







普通科・機械電気システム科

特進コース 一貫コース 進学アドバンスコース 進学コース

機械コース 電気情報コース

普通科には現在、特進・一貫・進学アドバンス・進学の4コースがあり、いずれも男女共学である。

特進コースは、少人数教育と7限授業制で国公立大 学への進学を目指し、多様な選択科目と個別受験指導 体制で大学進学を全面サポートしている。

一貫コースは、中部大学との高大連携による7カ年 一貫教育を柱に、個性を伸ばす教育を実施。きめ細や かなカリキュラムで学力を向上できる取り組みを実施 している。

進学アドバンスコースは中部大学進学を中核に有名 私立大学への進学を目指し、受験を意識した授業を展開 している。

進学コースは基礎学力の充実をはかり、中部大学を含む大学・専門学校への進学を目指している。

工業科は数度にわたる再編を経て、現在は機械電気システム科の名称のもと、2年次から機械・電気情報の2コースに分かれる。ものづくりの楽しさを通して人づくりを行うことを目標としており、また資格取得にも積極的に取り組んでいる。名古屋第一工学校以来の伝統にも支えられ、安定した高い就職率を誇っており地元の優良企業に就職している。





普通科特進コース



普通科一貫コース



普通科進学アドバンスコース



普通科進学コース



機械電気システム科 機械コース



機械電気システム科 電気情報コース



キャンパスライフ

中部大学第一高等学校では、一高祭(文化祭)、体育祭・球技大会など多彩な生徒会行事が開催される。ひとつの目的に向けて喜びを分かち合い、悩みや悲しみを共にする友達との交流、先生や先輩・後輩との出会いの輪も広がる活動である。

また、幅広い国際交流を行っており、世界各国から 積極的に長期・短期の留学生を受け入れる一方、本校 からもアメリカ・オーストラリアなどへの長期・短期の 留学を実施し、交流を図っている。

さらに、カンボジアESD研修を希望者を対象に実施し、日本ユネスコ協会が行う寺子屋活動や、アンコールワットの修復活動にも参加している。

部活動としては15の運動部と11の文化部があり、1年 生全員入部を原則としている。

運動部の中では男子バスケットボール部と少林寺 拳法部が全国高等学校総合体育大会(インターハイ) に何度も出場し、近年では両部とも2018年度の大会 で準優勝している。そのほかにもゴルフ部、チアリー ダー部も全国大会に出場している。

文化部では地域行事にも積極的に参加し、交流を 深めている。



野球部



チアリーダー部







少林寺拳法部



福祉実践



吹奏楽部

Chubu University Haruhigaoka High School 中部大学春日丘高等学校

中部大学春日丘高等学校は1965年(昭和40年)に中部工業大学附属高等学校としてスタートし、今日に至るまでに校名は中部工業大学附属春日丘高等学校、中部大学附属春日丘高等学校、春日丘高等学校、中部大学春日丘高等学校と変遷した。中部大学とキャンパスを同じくし、開校当時は普通科・機械科・電気科の3学科を有する高校であったが、現在は普通科1学科のみとなり、その中に啓明コース・特進コース・国際コース・進学コースの4つのコースを設置している。また、2017年(平成29年)からは中部大学との連携で高大一貫クラスがスタートしている。近年は卒業生の約3割が併設の中部大学へ、その他は国公立大学や他の私立大学、専門学校へとほぼ全員が進学している。

教育環境は、電子黒板機能を内蔵したプロジェクターの教室設置やグラウンドの全面人工芝化など、充実が進んでいる。一方、2014年(平成26年)にユネスコスクールに加盟するなど、国際教育、国際交流に力を入れてきた。開校50周年に当たる2015年(平成27年)には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール (SGH)に指定され「地域のグローバル化を推進する人材の育成」をテーマに、ESDやSDGsを取り入れた教育を進めている。







普通科

啓明コース 特進コース

国際コース 進学コース

中高6年一貫教育の啓明コースは、難関の国公立・私立大学への 合格実績から、ハイレベルな受験に対応したコースとして高い評価 を得てきた。2006年度(平成18年度)入試から公立中学からの進学 も若干名募集している。

国公立大学や難関私立大学を目指す特進コースは、名古屋大学などの国公立大学への合格実績をはじめ、学習面での面倒見の良さが高く評価されており、例年多くの志願者がある。

2015年度(平成27年度)にSGHに指定されて以来、国際コースが中心となってグローバル課題研究などに積極的に取り組んできた。また、約7週間のオーストラリア語学研修をはじめ、英語力を伸ばすカリキュラムのもと東京外国語大学など語学系の大学への進学実績を伸ばしている。

進学コースは、勉強と部活動を両立して中部大学への最短コース として評価を得ているが、国公立大学の受験を希望する生徒のため に選抜クラスを設けるなど、多様化する進路希望に対応している。

高大連携入学制度の開始に伴い、2017年度(平成29年度)からコースの枠を越えた高大一貫クラスが第3学年に開設された。10単位を先取りして中部大学に進学できるなどの特典があり、年々希望者が増えている。







特進コース



国際コー



進学コース



オーストラリア語学研修



キャンパスライフ

社会性や心豊かな情操の育成を図るために学校祭 (文化祭、体育祭)や修学旅行、球技大会をはじめ、 異文化交流会(グローバルミーティング)、グローバル 講演会、海外語学研修などさまざまな学校行事を展開 している。また、対外的な活動も盛んで、「響演・音の宴 (音楽祭)」や、生徒会が中心となった清掃活動や募 金活動、インターアクトクラブによるボランティア活 動などは地元住民や関係団体からも高く評価されて いる。

部活動としては運動部18、文化部11が活動している。 運動部ではラグビー部が2010年度(平成22年度) 以降「全国高校ラグビー大会(花園大会)」に6年連続 8回の出場を果たしている他、ハンドボール部、剣道 部、少林寺拳法部、ゴルフ部、チアリーディング部な ど、多くの部活動が全国大会出場を果たしている。

文化部では吹奏楽部が「吹奏楽コンクール」「マー チングコンテスト の両方で東海大会に出場するなど、 活発に活動している。



文化祭



グローバルミーティング



吹奏楽部



剣道部



少林寺拳法部



ハンドボール部



体育祭

Chubu University Haruhigaoka Junior High School 中部大学春日丘中学校

1990年(平成2年)に新しいタイプの理想的な教育を目指して開校した春日丘中学校は、中学と高校の6年一貫教育を行い、高い教育効果を上げるとともに、ゆとりある独自の教育を大きなねらいとしている。人間的にも学業的にも、基礎をしっかりと学ばせ、6年後の大学教育に耐えられる学力と人間力の育成に重点を置いている。開校以来、きめ細やかな教科指導や面倒見の良い指導で、難関大学への高い合格実績を誇っている。25周年を機に、校名を「中部大学春日丘中学校」に変更し、さらなる発展を目指している。中高一貫教育の利点を追求することや、国際化、情報化に対応した教育を行う必要性は、年々高まってきて

中高一貫教育の利点を追求することや、国際化、情報化に対応した教育を行う必要性は、年々高まってきている。そこで、これからの時代を見据えた教育改革を進め、ICT教育を積極的に取り入れた教育や選択制の指導を行っている。また学園との一体運営の中で、中部大学との連携教育を推進している。







カナダ語学研修旅行



2年生校外学習大阪イングリッシュビレッジ



国際教育

英語教育は生徒一人一人にきめ細かい指導を行い、3年生では2月から3月にかけて10日間の日程で、全員参加のカナダ語学研修旅行を実施し、国際感覚を育成している。

姉妹校としてこれまで20年以上にわたる交流を続けてきたカナダのグレンローザ・ミドル・スクールに加え、2015年(平成27年)にはコンスタブル・ニール・ブルース・ミドルスクールとも姉妹校提携をして交流を広げている。バンクーバー班別研修、姉妹校訪問やホームステイなどのプログラムは生きた英語を学ぶ機会となっている。また、近年ではお互いの文化交流プログラムも行っており、ESDとして多文化共生について学ぶ機会にもなっている。

キャンパスライフ

生徒の意欲や夢を尊重し、個のポテンシャルを伸ば す指導方針の下、自分の特性を伸ばし、失敗を恐れず 何事にも意欲的に取り組むことができるように、多彩な 学校行事に取り組んでいる。また、将来に対する高い 志やアカデミックな探究心を持ち、自信を持って自己 実現しようとするための探究学習を取り入れ、セレクト タイムと呼ばれる時間にサイエンス、ソーシャルなどの グループに分かれて個々の研究活動を行っている。

自己を高め、仲間との協調性を育むために、バスケットボール、サッカー、テニス、吹奏楽、ロボット、和太鼓など9つの部活動も活発に活動している。



球技大会ハルヒンピック



2年生東京鎌倉研修



立志式



中大連携講座•探求学習発表会



親子ふれあいレクリエーション

学校法人中部大学 歴代理事長、学園長、総長、学長、校長

理事長								
創立者・初代理事長	三浦幸平	1938 (昭和13) 年12月~1975 (昭和50) 年6月						
第2代理事長	山田和夫	1975 (昭和50) 年6月~2000 (平成12) 年12月						
第3代理事長	大西良三	2001 (平成13) 年1月~2011 (平成23) 年6月						
第4代理事長	飯吉厚夫	2011 (平成23) 年6月~現在						

学園長								
初代学園長	三浦幸平	1938 (昭和13) 年12月~1975 (昭和50) 年6月						
第2代学園長	山田和夫	1975 (昭和50) 年6月~2000 (平成12) 年12月						
第3代学園長	大西良三	2001 (平成13) 年1月~2016 (平成28) 年4月						

中部大学	- 〔中部工業短期大学	1962 (昭和37) 年4月~1964 (昭和39) 年3月〕
初代学長	三浦幸平	1962 (昭和37) 年4月~1975 (昭和50) 年6月
第2代学長 初代総長	山田和夫	1975 (昭和50) 年6月~1999 (平成11) 年3月 1999 (平成11) 年4月~2000 (平成12) 年12月
第3代学長 第2代総長	飯吉厚夫	1999 (平成11) 年4月~2005 (平成17) 年3月 2005 (平成17) 年4月~現在
第4代学長	山下興亜	2005 (平成17) 年4月~2017 (平成29) 年3月
第5代学長	石 原 修	2017 (平成29) 年4月~現在

中部大学女子短期大学〔1989 (平成元) 年4月~1999 (平成11) 年3月〕							
初代学長	山田和夫	1989(平成元)年4月~1991(平成3)年3月					
第2代学長	三浦朱門	1991 (平成3) 年4月~1995 (平成7) 年3月					
第3代学長	山田和夫	1995 (平成7) 年4月~1999 (平成11) 年3月 (閉学)					

中部大学第一高等学校								
初代校長	真嶋正市	1939 (昭和14) 年4月~1944 (昭和19) 年7月						
第2代校長	三浦幸平	1944(昭和19)年7月~1964(昭和39)年3月						
第3代校長	入部彌一	1964(昭和39)年4月~1971(昭和46)年3月						
第4代校長	水野隆夫	1971 (昭和46) 年4月~1974 (昭和49) 年4月						
第5代校長	山田貞彦	1974(昭和49)年5月~1982(昭和57)年3月						
第6代校長	松原光雄	1982 (昭和57) 年4月~1988 (昭和63) 年3月						
第7代校長	馬渡一生	1988 (昭和63) 年4月~1989 (平成元) 年8月						
第8代校長	山田和夫	1989(平成元)年10月~1990(平成2)年3月						
第9代校長	髙田富雄	1990(平成2)年4月~2000(平成12)年3月						
第10代校長	塩谷伸晴	2000(平成12)年4月~2006(平成18)年3月						
第11代校長	藤本英昭	2006 (平成18) 年4月~2014 (平成26) 年3月						
第12代校長	西山隆久	2014(平成26)年4月~現在						

中部大学技術医療専門学校〔1983 (昭和58) 年4月~2011 (平成23) 年3月〕								
初代校長	澤木汀二	1983 (昭和58) 年4月~1989 (平成元) 年3月						
第2代校長	前田松夫	1989 (平成元) 年4月~1996 (平成8) 年3月						
第3代校長	田中俊夫	1996 (平成8) 年4月~2011 (平成23) 年3月 (閉校)						

中部大学春日丘高等学校							
初代校長	三浦幸平	1965 (昭和40) 年4月~1969 (昭和44) 年5月					
第2代校長	黒柳誠太郎	1969(昭和44)年6月~1975(昭和50)年3月					
第3代校長	佐光義民	1975 (昭和50) 年4月~1983 (昭和58) 年3月					
第4代校長	渡邊肇	1983 (昭和58) 年4月~1992 (平成4) 年3月					
第5代校長	山田啓一	1992(平成4)年4月~1997(平成9)年3月					
第6代校長	犬 飼 武	1997(平成9)年4月~2005(平成17)年3月					
第7代校長	野々部幸藏	2005 (平成17) 年4月~2009 (平成21) 年3月					
第8代校長	梅津敬	2009(平成21)年4月~2012(平成24)年9月					
第9代校長	北原和彦	2012 (平成24) 年10月~2013 (平成25) 年3月					
第10代校長	二 村 啓	2013 (平成25) 年4月~現在					

中部大学春日丘中学校							
初代校長	渡邊肇	1990 (平成2) 年4月~1992 (平成4) 年3月					
第2代校長	山田啓一	1992 (平成4) 年4月~1997 (平成9) 年3月					
第3代校長	犬 飼 武	1997(平成9)年4月~2005(平成17)年3月					
第4代校長	野々部幸藏	2005 (平成17) 年4月~2009 (平成21) 年3月					
第5代校長	梅津敬	2009 (平成21) 年4月~2012 (平成24) 年9月					
第6代校長	北原和彦	2012 (平成24) 年10月~2013 (平成25) 年3月					
第7代校長	二 村 啓	2013 (平成25) 年4月~現在					

2019(令和元)年度 学生・生徒数、教職員数

		学部・学科	12	F	24	Į.	3	年	42	Ŧ	合	計
	工学部	機械工学科電気システム工学科電子で報工学科都市建設工学科都市建設工学科建築学科性の原本の学科では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	135 - 81 117 87 118 85 167 76	(5) (15) (15) (12) (7) (2) (7) (11)	164 7 3 82 101 90 134 89 185 78	(7) (0) (0) (8) (18) (19) (5) (5) (4) (9)	170 75 90 67 125 93 147 84 —	(6) 〈1 (0) (2) (3) (21) 〈1 (12) (8) 〈2	71 82 74 133 81 147 79	(4) (1) (2) (4) (25) (14) (11) (3)	643 153 175 304 476 351 546 337 352 154	(22) (1) (4) (20) (79) (57) (31) (14) (11) (20)
		小 計 経営情報学科	866	(64)	933	(75)	851 9	(56) (4	841	(64)	3,491	(259)
	経営情報学部	経営学科 経営会計学科 経営総合学科	- 329	(33)	_ _ 293	(34)	7 2 349	(0) (0) (46) 〈1	15 11	(0) (0) (33)	22 13 1,237	(0) (0) (146)
		小 計	329	(33)	293	(34)	367	(46) <1	-	(34)	1,298	(147)
	国際関係学部	国際関係学科 国際文化学科 中国語中国関係学科 国際学科	_ _ _ 151	(47)	- - 142	(48)	7 - 2 144	(2) (2) (54)	13 8 4 119	(2) (4) (0) (55)	20 8 6 556	(4) (4) (2) (204)
中		小 計	151	(47)	142	(48)	153	(58)	144	(61)	590	(214)
部大学	人文学部	日本語日本文化学科 英語英米文化学科 コミュニケーション学科 心理学科 歴史地理学科	78 74 72 88 92	(33) (22) (27) (34) (19)	94 74 78 102 79	(36) (27) (17) (47) (16)	81 70 76 102 109	(38) (38) (21) (56) 〈1 (23)	87 65 57 111 119	(29) (27) (15) (42) (14)	340 283 283 403 399	(136) (114) (80) (179) (72)
		小計	404	(135)	427	(143)	438	(176) 〈1	39	(127)	1,708	(581)
	応用生物学部	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科食品栄養科学専攻 食品栄養科学科管理栄養科学専攻	120 114 58 69	(43) (29) (28) (54)	120 119 53 72	(33) (30) (29) (54)	139 133 66 80	(48) (25) 〈1 (32) 〈1 (56)	54 79	(33) (23) (22) (57)	488 482 231 300	(157) (107) (111) (221)
		小計	361	(154)	364	(146)	418	(161) (2		(135)	1,501	(596)
	生命健康科学部	生命医科学科 保健看護学科 理学療法学科 作業療法学科 臨床工学科 スポーツ保健医療学科	63 95 38 34 39 80	(35) (83) (13) (13) (10) (7)	64 91 43 41 39 77	(32) (85) (22) (22) (10) (7)	59 112 39 33 38 86	(36) (100) (18) (21) (13) (9)	71 100 49 48 58 96	(41) (83) (18) (30) (20) (16)	257 398 169 156 174 339	(144) (351) (71) (86) (53) (39)
		小計	349	(161)	355	(178)	367	(197)	422	(208)	1,493	(744)
	現代教育学部	幼児教育学科 現代教育学科 現代教育專攻 現代教育学科 中等教育国語数学專攻	75 69 16	(67) (23) (2)	82 66 21	(67) (17) (5)	76 63 17	(65) (18) (5)	79 87 —	(65) (23)	312 285 54	(264) (81) (12)
		小計	160	(92)	169	(89)	156	(88)	166	(88)	651	(357)
		合 計	2,620	(686)	2,683	(713)	2,750	(782) <8	2,679	(717)	10,732	(2,898)

					博士前期	(修士)						- 博十	:後期					
	研究科・専攻		1年		2年			計	1年		2年		3年		小計			
	工学研究科	機械工学専攻電気電子工学専攻電気電子工学専攻 電気電子工学専攻 応用化学専攻 情報工学専攻 自造エネルギー理工学専攻 ロボット理工学専攻	4 8 12 9 27 1 14	(1) (1) (2) (1) (1) (0) (1)	9 6 13 19 16 0	(1) (1) (4) (0) (1)	13 14 25 28 43 1 32	(2) (2) (6) (1) (2) (0) (1)	1 0 1 1 4 2	(0) (0) (0) (0) (0)	0 1 0 0 0 1	(0)	0 3 5 0 5 2	(0) (0) (0)	1 4 6 1 9 5	(0) (0) (0) (0) (0) (0)	14 18 31 29 52 6 32	(2) (2) (6) (1) (2) (0) (1)
		小 計	75	(7)	81	(7)	156	(14)	9	(0)	2	(0)	15	(0)	26	(0)	182	(14)
	経営情報学研究科	経営情報学専攻 経営学専攻	0	(0)	0	(0)	0 4	(0)	1	(0)	0		0		1 –	(0)	1 4	(0)
中		小計	1	(0)	3	(0)	4	(0)	1	(0)	0		0		1	(0)	5	(0)
中部大学大	国際人間学研究科	国際関係学専攻 言語文化専攻 心理学専攻 歴史学・地理学専攻	1 3 0 4	(1) (1) (1)	3 0 0 1	(2)	4 3 0 5	(3) (1) (2)	0 0 0 0		1 1 0 0	(1) (0)	5 1 1 2	(3) (1) (1) (0)	6 2 1 2	(4) (1) (1) (0)	10 5 1 7	(7) (2) (1) (2)
大学院		小計	8	(3)	4	(3)	12	(6)	0		2	(1)	9	(5)	11	(6)	23	(12)
院	応用生物学研究科	応用生物学専攻	28	(9)	23	(10)	51	(19)	1	(0)	1	(0)	8	(2)	10	(2)	61	(21)
	心用土彻子切光件	小計	28	(9)	23	(10)	51	(19)	1	(0)	1	(0)	8	(2)	10	(2)	61	(21)
	生命健康科学研究科	生命医科学専攻 看護学専攻 リハビリテーション学専攻 保健医療学専攻	11 3 2 4	(2) (3) (1) (0)	6 4 1 —	(2) (4) (0)	17 7 3 4	(4) (7) (1) (0)	3 - - -	(1)	4 - - -	(1)	4 - -	(2)	11 - - -	(4)	28 7 3 4	(8) (7) (1) (0)
		小計	20	(6)	11	(6)	31	(12)	3	(1)	4	(1)	4	(2)	11	(4)	42	(16)
	**本兴田亦到	教育学専攻	1	(0)	0		1	(0)	_		_		-		_		1	(0)
	教育学研究科	小計	1	(0)	0		1	(0)	_		_		_		_		1	(0)
		合 計	133	(25)	122	(26)	255	(51)	14	(1)	9	(2)	36	(9)	59	(12)	314	(63)

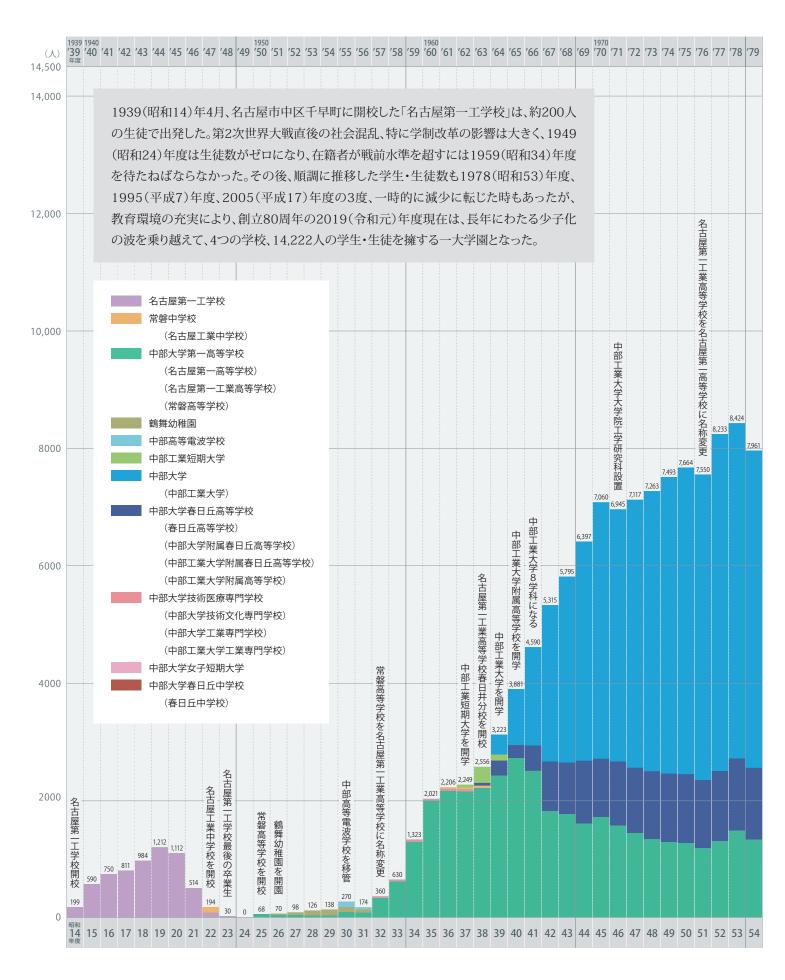
学科	学科 1年			年		年			
中部大学第一高等学校									
普通科	365	(109)	374	(115)	293	(91)	1,032	(315)	
機械電気システム	科 87		104		114		305		
合 計	452	(109)	478	(115)	407	(91)	1,337	(315)	
中部大学春日丘高等学	交								
普通科	534	(227)	477	(189)	493	(220)	1,504	(636)	
中部大学春日丘中学校									
	115	(52)	123	(44)	97	(34)	335	(130)	

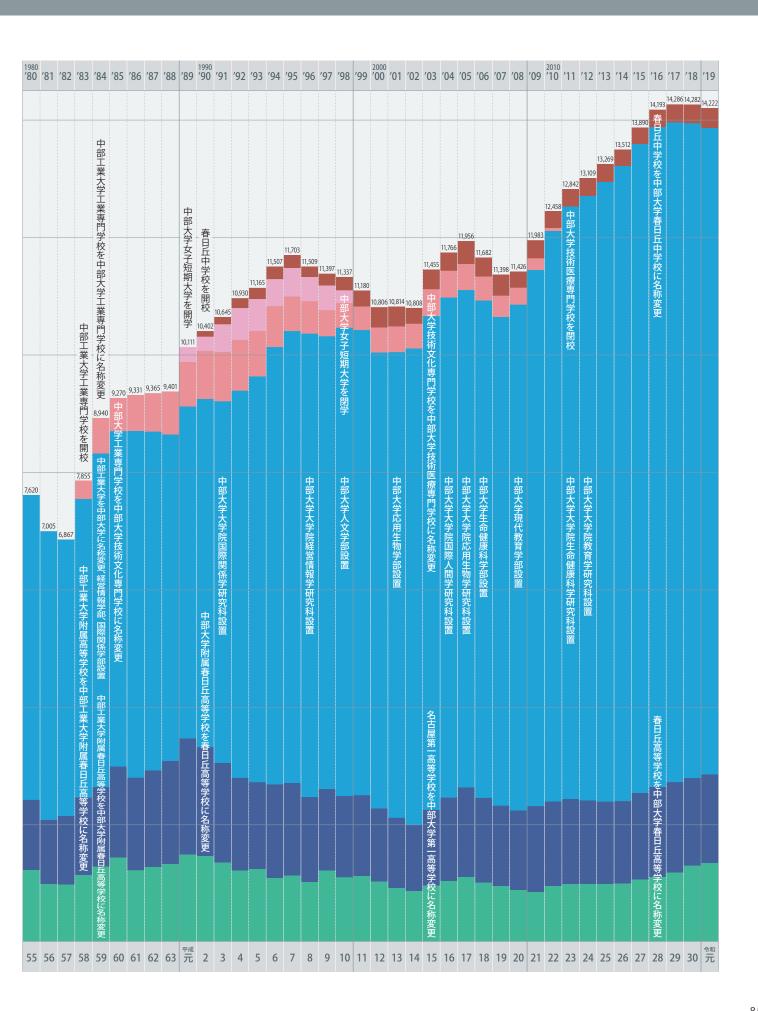
学生・生徒 総数	男子	女子	総数
中部大学	7,834	2,898	10,732
中部大学大学院	251	63	314
中部大学第一高等学校	1,022	315	1,337
中部大学春日丘高等学校	868	636	1,504
中部大学春日丘中学校	205	130	335
合 計	10.180	4.042	14,222

専任教職員数	教育職員			教育職員を除く職員			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
法人事務局	1	0	1	52	37	89	53	37	90
中部大学	377	161	538	96	107	203	473	268	741
中部大学第一 高等学校	50	14	64	3	6	9	53	20	73
中部大学春日丘 高等学校	70	16	86	4	5	9	74	21	95
中部大学春日丘 中学校	14	7	21	0	1	1	14	8	22
三浦記念会館	0	0	0	0	2	2	0	2	2
合 計	512	198	710	155	158	313	667	356	1,023

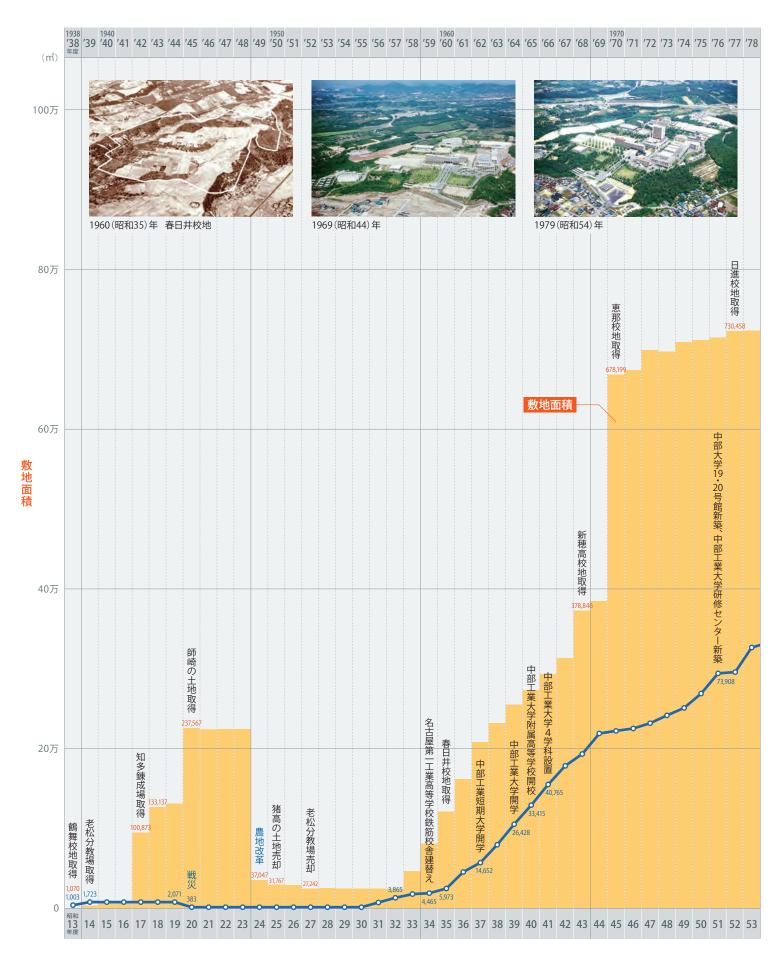
^() 内は女子内数 〈 〉内は2019年度3年次編入内数 2019年5月1日現在

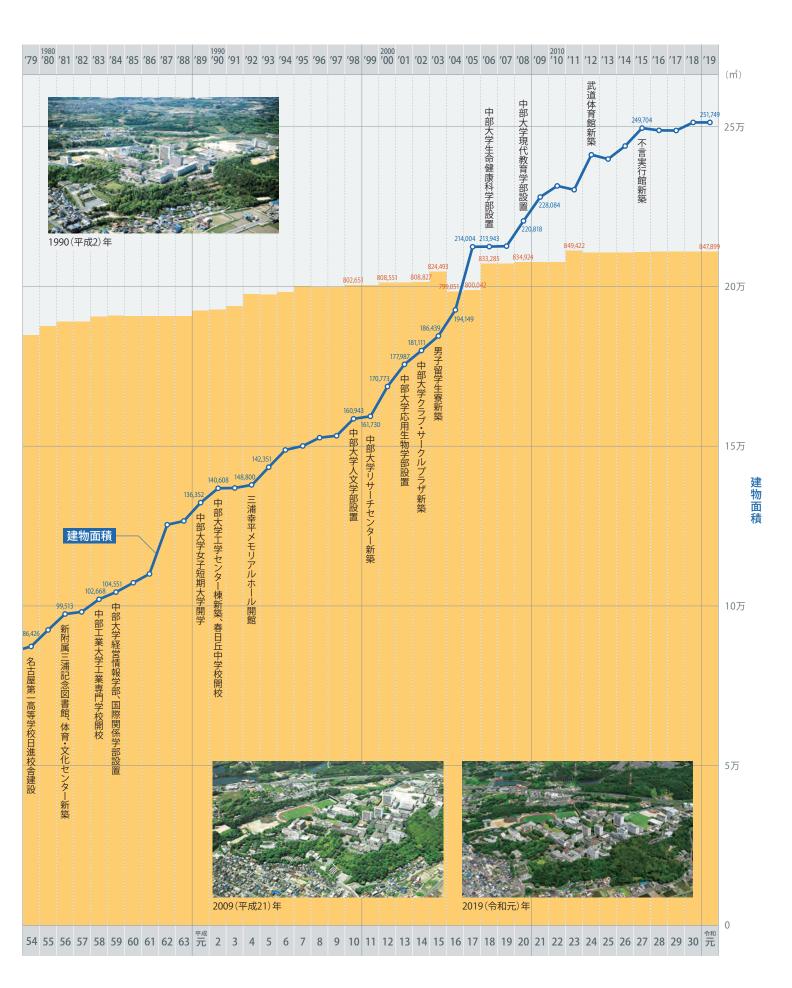
学校法人中部大学 学生・生徒数の推移

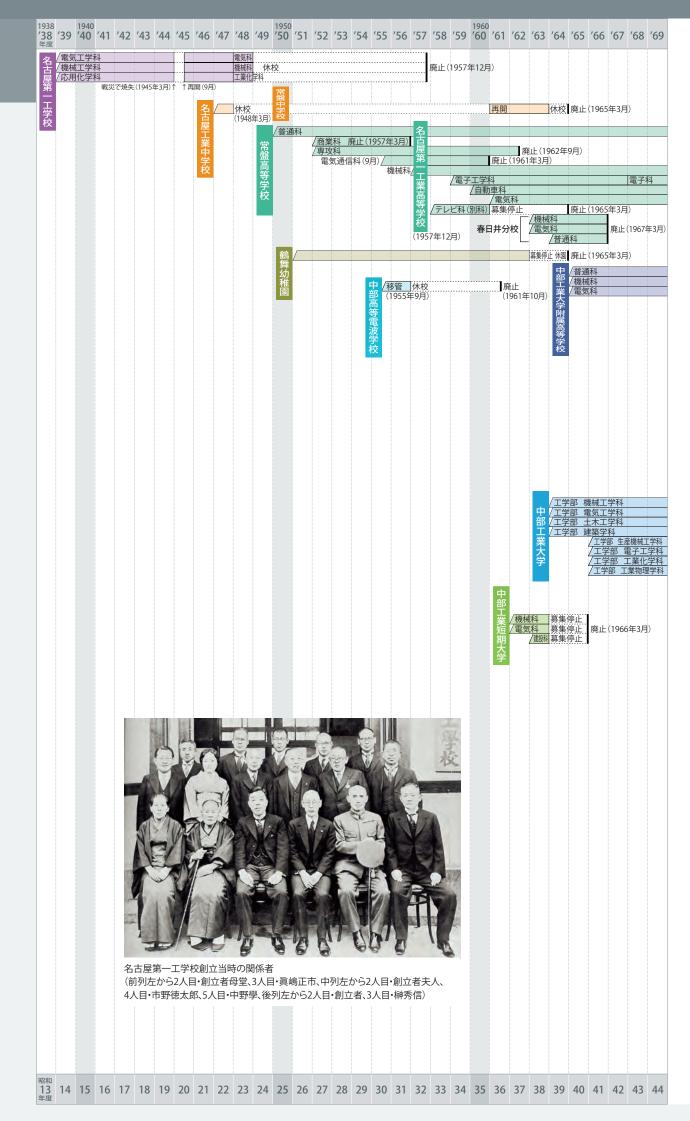


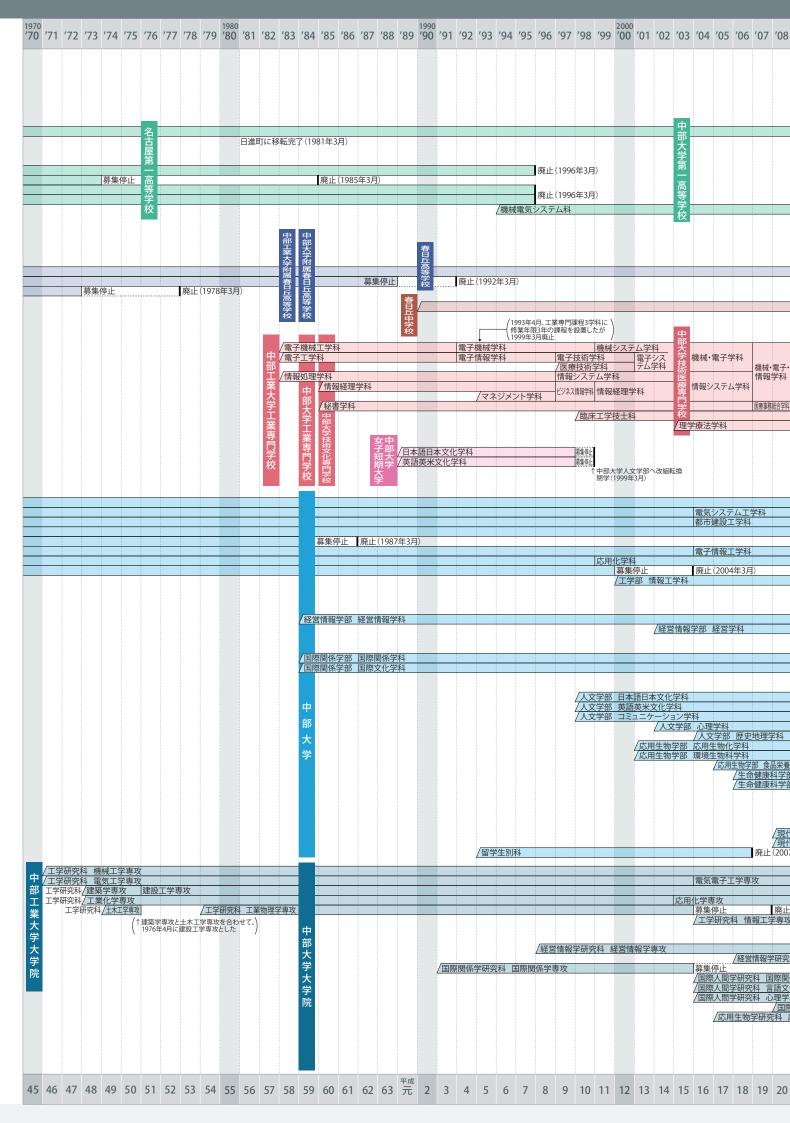


学校法人中部大学 敷地・建物面積の推移

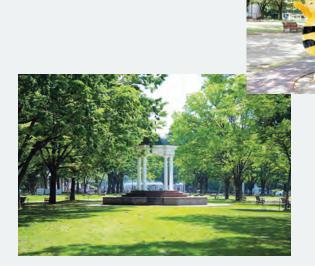


















学校法人中部大学